

保健学部

臨床検査技術学科	125
健康福祉学科	128
救急救命学科	132
看護学科・看護学専攻	
基礎・在宅看護学研究室	132
成人・高齢者看護学研究室	133
母子看護学研究室	134
助産学研究室	134
小児看護学研究室	134
地域看護学研究室	134
精神看護学研究室	135
医療科学 I 研究室	136
看護学科・看護養護教育学専攻	136
臨床工学科	138
理学療法学科	142
作業療法学科	147
診療放射線技術学科	149

● 臨床検査技術学科 ●

大迫 俊二

講演

- 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 塚田岳大, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内S100タンパク質陽性細胞から分泌されるケモカインCXCL10はCRF刺激性ACTH分泌を抑制する. 第88回日本内分泌学会学術総会, 東京, 2015年4月23-25日.
- 堀口幸太郎, 館野こずえ, 藤原研, 塚田岳大, 八子英司, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤たか子, 加藤幸雄: 下垂体前葉の生後発達におけるS100β陽性細胞の挙動とその制御機構の解明. 第30回日本下垂体研究会学術集会, 富山, 2015年8月5-7日.
- 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 塚田岳大, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉組織発達におけるS100β陽性細胞の挙動. 第42回日本神経内分泌学会学術集会, 仙台, 2015年9月18-19日.

論文

- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yako H², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y² (¹Jichi University, ²Meiji University): Expression of *Slug* in S100β protein-positive cells of the postnatal developing rat anterior pituitary gland. *Cell Tissue Res.* 363(2): 513-524, 2016.

蒲生 忍

論文
原著

- Momose Y, Aimi Y, Hirayama T, Kataoka M, Ono M, Yoshino H, Satoh T, Gamou S: *De novo* mutations in the BMPR2 gene in patients with heritable pulmonary arterial hypertension. *Ann Human Genet* 79(2):85-91, 2015.
- Fujiwara K, Takahashi T, Nguyen P, Kubota Y, Gamou S, Sakurai S, Takahashi S: Uptake and retention of radio-caesium in earthworms cultured in soil contaminated by the Fukushima nuclear power plant accident. *J Environ Radioact* 139:1-5, 2015.

総説

- 下島裕美, 三浦雅文, 門馬博, 齋藤昭彦, 蒲生忍: メタ認知を促す医学教育—4ボックス法の可能性を探る—. 杏林医学会雑誌46(1):3-10, 2015.

川澄 岩雄

講演

- 田村陽介, 田中薫, 川澄岩雄: パニロイドの配座解析と安定構造の検討. 日本薬学会第136年会, 横浜, 2016年3月27-29日.

論文

- 蒲生夏美, 田村陽介, 田中薫, 川澄岩雄: 医療施設で働く臨床検査技師数の動向と将来展望. *臨床検査学教育* 8(1):8-13, 2016.

その他

- 川澄岩雄: 平成27年度第1回～第3回臨床検査技師模擬試験問題, 医歯薬出版株式会社, 2015年9月, 11月, 2016年1月実施.

田口 晴彦

講演

- Kurata S, Osaki T, Yonezawa H, Hanawa T, Taguchi H, Kamiya S: The effects of *M. pneumoniae* antigen sensitization on follicular helper T cell differentiation. 第89回日本細菌学会総会, 大阪, 2016年3月23-25日.

田中 浩輔

講演

- Tanaka K, Itoh S: Neural control of the hindgut movement in the penaeid shrimp, *Marsupenaeus japonicus*. The 9th International Congress of Comparative physiology and biochemistry (ICCPB 2015), Portland, August 23rd-28th, 2015.

論文

- 田中浩輔¹, 伊藤慎¹, 黒川信² (¹杏林大・保・臨床検査技術学, ²首都大学・院理工・生命科学): クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) 直腸運動支配の中樞神経機構. 杏林大学研究報告 33:1-7, 2016.

著書

- 田中浩輔: ヒトの触覚実験—触点の分布の特徴および2点弁別—. 研究者が教える動物実験 第1巻. 尾崎まみこ, 村田芳博, 藍浩之, 定本久世, 吉村和也, 神崎亮平編. 東京, 共立出版, 2015. p.96-98.
- 田中浩輔: 神経刺激で筋肉運動を惹起する. 研究者が教える動物実験 第2巻. 尾崎まみこ, 村田芳博, 藍浩之, 定本久世, 吉村和也, 神崎亮平編. 東京, 共立出版, 2015. p.46-47.
- 田中浩輔: 心臓の自動能とペースメーカーを調べる. 研究者が教える動物実験第2巻. 尾崎まみこ, 村田芳博, 藍浩之, 定本久世, 吉村和也, 神崎亮平編. 東京, 共立出版, 2015. p.181-183.
- 田中浩輔: ホルモンは心臓拍動を変化させる. 研究者が教える動物実験 第2巻. 尾崎まみこ, 村田芳博, 藍浩之, 定本久世, 吉村和也, 神崎亮平編. 東京, 共立出版, 2015. p.184-186.

東 克巳

講演

- 東克巳: 骨髓検査技師を目指そう! そのためには何が必要?. 第16回日本検査血液学会学術集会, 名古屋, 2015年7月11-12日.

著書

- 東克巳: 赤血球. JAMT技術教本シリーズ 血液検査技術教本. 日本臨床検査技師会監修. 東京, 丸善出版, 2015. p.9-17.
- 東克巳: 検体採取と保存. 最新臨床検査学講座 血液検査学. 東京, 医歯薬出版, 2016. p.73-76.
- 東克巳: 血球に関する検査. 最新臨床検査学講座 血液検査学. 東京, 医歯薬出版, 2016. p.77-90, p.97-104.
- 東克巳: 形態に関する検査. 最新臨床検査学講座 血液検査学. 東京, 医歯薬出版, 2016. p.146-152.
- 東克巳: 検体採取. 最新臨床検査学講座 医療安全管理学. 諏訪部章, 高木康, 松本哲也編. 東京, 医歯薬出版, 2016. p.41-68.

森田 耕司

講演

- 日暮芳己, 森田耕司, 佐藤智明, 池田麻穂子, 奥川周,

森屋恭爾：ESBL産生 *E. coli* の Phylogenetic group と病原因子の保有．第27回日本臨床微生物学会総会・学術集会，仙台，2016年1月29-31日．

2. 森田耕司，渡辺登，日暮芳己：CTX-M型 β -ラクタマーゼ遺伝子を有する接合性Rプラスミドのレプリコンタイプ．第3回医療危機管理研究会，千葉，2016年2月20日．

論文

1. 森田耕司，渡辺登：微生物学関連の講義に興味を芽生えさせるために - 温故知新，温故知今 - ．臨床検査学教育 7:187-192，2015．
2. 森田耕司，渡辺登：臨床検査技師と国際医療協力 - 本学大学院国際協力研究科における国際医療協力の実践的な学びと研究 - ．臨床検査学教育 7:202-207，2015．
3. 森田耕司，渡辺登：*Citrobacter freundii* と *Klebsiella pneumoniae* に見出したメタロ - β - ラクタマーゼに関する分子遺伝学的研究．臨床検査学教育 7:223-228，2015．

相磯 聡子

講演

1. 相磯聡子，関根名里子，高城靖志，大西宏明，渡邊卓：喫煙が健常人血中miR-21レベルに及ぼす影響．第62回日本臨床検査医学会学術集会，岐阜，2015年11月19-22日．

論文

1. 相磯聡子，関根名里子，高城靖志¹，大西宏明²（¹杏林大医学部付属病院・臨床検査部，²杏林大・医・臨床検査医学）：Spike-in controlを用いた血中マイクロRNAの測定における検体保存温度および時間についての検討．臨床病理 63:688-693，2015．

特許等知的財産関係，報告書

1. 相磯聡子：肺癌の早期診断を目指した血中miRNA定量に関する基盤的研究．科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）2014年度 研究実施状況報告書．

小野川 傑

講演

1. 小野川傑：HEp-2細胞を用いた抗核抗体検査の学内実習への導入を諦めていますか？．第10回日本臨床検査学教育学会学術大会，松本，2015年8月19-21日．

瀧上 周

講演

1. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，樋口雅司，塚田岳大，加藤たか子，館野こずえ，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：下垂体前葉内S100タンパク質陽性細胞から分泌されるケモカインCXCL10はCRF刺激性ACTH分泌を抑制する．第88回日本内分泌学会学術総会，東京，2015年4月23-25日．
2. 堀口幸太郎，館野こずえ，藤原研，塚田岳大，八子英司，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤たか子，加藤幸雄：下垂体前葉の生後発達におけるS100 β 陽性細胞の挙動とその制御機構の解明．第30回日本下垂体研究会学術集会，富山，2015年8月5-7日．
3. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，樋口雅司，塚田岳大，加藤たか子，館野こずえ，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：下垂体前葉組織発達におけるS100 β 陽性細胞の挙動．第42回日本神経内分泌学会学術集会，仙台，2015年9月18-19日．

論文

1. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yako H²,

Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y² (¹Jjchi University, ²Meiji University): Expression of *Slug* in S100 β protein-positive cells of the postnatal developing rat anterior pituitary gland. Cell Tissue Res. 363(2):513-524, 2016.

その他

1. 瀧上周：書評「和食の魚料理のおいしさを探る-科学で見る伝統的調理法-」，日本味と匂学会誌 22(1)，p. 59-60，2015．

八巻 明子

著書

1. 八巻明子：クレアチン，クレアチニン，ビリルビン．新版臨床化学第3版．片山善章，栢森裕三，長村洋一編．東京，講談社，2015． p. 161-173．

山本 寛

その他

1. 佐藤亮太，伊藤彩美，和泉大輝，加藤千裕，木戸晴菜，鳥塚由貴，中里真依，山本寛，大河戸光章，藤井雅彦：試作プロテイン銀のBodian染色への検討．杏林医学会平成26年度学生リサーチ償受賞報告．杏林医学会誌 46-2:s13-14，2015．

新江 賢

論文

1. Morita H¹, *Arae K, *Unno H², Miyauchi K³, Toyama S⁴, Nambu A⁵, Oboki K⁶, Ohno T⁴, Motomura K⁶, Matsuda A⁷, Yamaguchi S⁵, Narushima S⁵, Kajiwara N⁶, Iikura M⁸, Suto H⁷, McKenzie AN⁹, Takahashi T¹⁰, Karasuyama H⁷, Okumura K⁷, Azuma M⁴, Moro K³, Akdis CA¹, Galli SJ¹¹, Koyasu S³, Kubo M¹², Sudo K¹³, Saito H⁶, Matsumoto K⁶, Nakae S⁵ (¹Swiss Institute of Allergy and Asthma Research, ²The Jikei University School of Medicine, ³RIKEN, ⁴Tokyo Medical and Dental University, ⁵The University of Tokyo, ⁶National Research Institute for Child Health and Development, ⁷Juntendo University, ⁸National Center for Global Health and Medicine, ⁹MRC Laboratory of Molecular Biology, ¹⁰Keio University, ¹¹Stanford University, ¹²Tokyo University of Sciences, ¹³Tokyo Medical University): An Interleukin-33-Mast Cell-Interleukin-2 Axis Suppresses Papain-Induced Allergic Inflammation by Promoting Regulatory T Cell Numbers. Immunity. 43(1):175-86, 2015. *co-first author.
2. Morita H¹, Arae K, Unno H², Toyama S³, Motomura K³, Matsuda A³, Suto H⁴, Okumura K⁴, Sudo K⁵, Takahashi T¹, Saito H³, Matsumoto K³, Nakae S⁶ (¹Keio University, ²Jikei University School of Medicine, ³National Research Institute for Child Health and Development, ⁴Juntendo University, ⁵Tokyo Medical University, ⁶The University of Tokyo): IL-25 and IL-33 Contribute to Development of Eosinophilic Airway Inflammation in Epicutaneously Antigen-Sensitized Mice. PLoS One. 10(7):e0134226, 2015.

特許等知的財産関係，報告書

1. 新江賢：キチンによるアレルギー応答誘導機構の解析．学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 2015年度 研

究実施状況報告書。

伊藤 慎

講演

1. Tanaka K, Ito S: Neural control of the hindgut movement in the penaeid shrimp, *Marsupenaeus japonicus*. The 9th International Congress of Comparative physiology and biochemistry (ICCPB 2015), Portland, August 23rd-28th, 2015.
2. Ito S, Tanaka K: mRNA sequence analysis of 5-HT1 receptor on prawn *Marsupenaeus japonicus*. CompBiol 2015, 第37回日本比較生理生化学会第40回日本内分泌学会合同大会, 広島, 2015年12月11-13日.

論文

1. 田中浩輔, 伊藤慎, 黒川信¹ (首都大学・院理工・生命科学): クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) 直腸運動支配の中樞神経機構. 杏林大学研究報告 33:1-7, 2016.
2. Koizume S¹, Ito S, Nakamura Y¹, Yoshihara M¹, Furuya M³, Yamada R, Miyagi E², Hirahara F², Takano Y¹, Miyagi Y¹: ¹Molecular Pathology and Genetics Division, Kanagawa Cancer Center Research Institute, ²Obstetrics, Gynecology and Molecular Reproductive Science, Yokohama City University Graduate School of Medicine, ³Departments of Pathology, Yokohama City University Graduate School of Medicine) Lipid starvation and hypoxia synergistically activate ICAM1 and multiple genes in an Sp1-dependent manner to promote the growth of ovarian cancer. Mol Cancer. 14:77, 2015.

大河戸 光章

講演

1. 岡山香里, 大河戸光章, 北村浩, 井戸田一朗, 藤井雅彦: 肛門管擦過細胞診標本における多彩なHPV感染所見. 第56回日本臨床細胞学会総会春期大会, 島根, 2015年5月27日.
2. 岡山香里, 大河戸光章, 北村浩, 井戸田一朗: HIV陽性men who have sex with men (MSM)における肛門擦過細胞診. 第54回日本臨床細胞学会秋期大会, 名古屋, 2015年11月18日.
3. 大河戸光章, 岡山香里, 北村浩, 井戸田一朗: HIV陽性MSMにおける肛門擦過細胞診とHuman papillomavirus検査. 第29回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2015年12月1日.
4. 北村浩, 井戸田一朗, 岡山香里, 大河戸光章, 佐野彰彦, 佐野麻里子, 小林治: 拡大肛門鏡を用いたHIV陽性者の肛門管上皮内病変の診断と治療. 第29回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2015年12月1日.
5. 八重樫洋, 重原一慶, 中嶋一史, 川口昌平, 井戸田一朗, 大河戸光章, 笹川寿之, 並木幹夫: 日本人男性間性交渉者における肛門HPV感染および肛門上皮細胞異型に関する検討. 第28回日本性感染症学会学術大会, 東京, 2015年12月5日.
6. 大河戸光章: 子宮頸部および肛門管細胞診におけるHPV感染. 第33回埼玉県細胞検査士会学術集会, さいたま, 2016年3月5日.

著書

1. 大河戸光章, 鴨志田伸吾: 病理学的検査法. 臨床検査学講座 病理学/病理検査学. 東京, 医歯薬出版, 2016. p. 199-337.

村田 麻喜子

講演

1. 村田麻喜子: ヤマトヒメミミズの生殖器分化に関わる因子の探索. 第38回日本分子生物学会年会, 神戸, 2015年12月1-4日.

西村 伸大

講演

1. 町田喜代実, 武藤祐子, 富田知子, 西村伸大: 美容室でのハンドマッサージによるリラクゼーション効果の研究1. 第22回日本未病システム学会学術総会, 札幌, 2015年10月11-12日.
2. 武藤祐子, 町田喜代実, 富田知子, 西村伸大: 美容室でのハンドマッサージによるリラクゼーション効果の研究2. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.

その他

1. 西村伸大: いちよう塾アロマセラピー基礎講座〜エッセンシャルオイルを用いたリラクゼーション〜, 2015年6月27日, 7月4日, 7月11日 (第1回). 2015年7月18日, 8月1日, 8月8日 (第2回).

堀口 幸太郎

講演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 塚田岳大, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内S100タンパク質陽性細胞から分泌されるケモカインCXCL10はCRF刺激性ACTH分泌を抑制する. 第88回日本内分泌学会学術総会, 東京, 2015年4月23-25日.
2. 堀口幸太郎, 館野こずえ, 藤原研, 塚田岳大, 八子英司, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤たか子, 加藤幸雄: 下垂体前葉の生後発達におけるS100β陽性細胞の挙動とその制御機構の解明. 第30回日本下垂体研究会学術集会, 富山, 2015年8月5-7日.
3. Tofrizal A, Azuma M, Tsukada T, Fujiwara K, Horiguchi K, Yashiro T, Yamada S: Identification of tissue inhibitor matrix-metalloproteinase expressing cells in human anterior pituitary gland. 第30回日本下垂体研究会学術集会, 富山, 2015年8月5-7日.
4. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 塚田岳大, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉組織発達におけるS100β陽性細胞の挙動. 第42回日本神経内分泌学会学術集会, 仙台, 2015年9月18-19日.

論文

1. Fujiwara K¹, Horiguchi K, Maliza R¹, Tofrizal A¹, Batchuluun K¹, Ramadhani D, Syaidah R¹, Tsukada T¹, Azuma M¹, Kikuchi M¹, Yashiro T¹ (Jjchi University): Expression of the heparin-binding growth factor midkine and its receptor, Ptpzrl, in adult rat pituitary. Cell Tissue Res 359(3): 909-914, 2015.
2. Azuma M¹, Tofrizal A¹, Maliza R¹, Batchuluun K¹, Ramadhani D¹, Tsukada T¹, Fujiwara K¹, Kikuchi M¹, Horiguchi K, Yashiro T¹ (Jjchi University): Maintenance of the extracellular matrix in rat anterior pituitary gland: Identification of cells expressing tissue inhibitors of metalloproteinases. Acta Histochem Cytochem. 48(6):185-192, 2015.
3. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yako H², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S,

Yashiro T¹, Kato T², Kato Y² (¹Jjchi University, ²Meiji University): Expression of *Slug* in S100 β protein-positive cells of the postnatal developing rat anterior pituitary gland. Cell Tissue Res. 363(2):513-524, 2016.

4. Nishimura N¹, Ueharu H¹, Nishihara H¹, Shibuya S¹, Yoshida S¹, Higuchi M¹, Kanno N¹, Horiguchi K, Kato T¹, Kato Y¹ (¹Meiji University): Search for Regulatory Factors of Pituitary-specific Transcription Factor PRO1 Gene. J Reprod Dev. 62(1):93-102, 2016.

特許等知的財産関係，報告書

1. 堀口幸太郎：第4回杏林医学会研究奨励賞受賞報告書，下垂体前葉に存在する樹状細胞様S100 β 陽性細胞の単離と機能解析，杏林医学会誌 46(4)：43，2015.

その他

1. 堀口幸太郎：学会印象記掲載，「第88回日本内分泌学会学術総会に参加して」，比較内分泌学. 46(156)：133-134，2015.
2. 堀口幸太郎：平成27年度杏林大学保健学個人研究奨励賞，2015年9月3日．
3. 堀口幸太郎：ワークショップ講師，平成27年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「大規模オミックスの活用による生殖内分泌組織の新たな機能制御法の確立」分担課題「生殖内分泌の組織と機能形成を制御する分子プログラムの解明とその制御法の開発」第1回ワークショップ：下垂体組織のタイムラプス観察法，明治大学農学部，2015年10月26日．
4. 堀口幸太郎：第4回杏林医学会研究奨励賞，2015年11月21日．

渡辺 登

講演

1. 森田耕司，渡辺登，日暮芳己：CTX-M型 β -ラクタマーゼ遺伝子を有する接合性Rプラスミドのレプリコンタイプ．第3回医療危機管理研究会，千葉，2016年2月20日．

論文

1. 森田耕司，渡辺登：微生物学関連の講義に興味を芽生えさせるために - 温故知新，温故知今 - ．臨床検査学教育 7:187-192，2015.
2. 森田耕司，渡辺登：臨床検査技師と国際医療協力 - 本学大学院国際協力研究科における国際医療協力の実践的な学びと研究 - ．臨床検査学教育 7:202-207，2015.
3. 森田耕司，渡辺登：*Citrobacter freundii*と*Klebsiella pneumoniae*に見出したメタロ- β -ラクタマーゼに関する分子遺伝学的研究．臨床検査学教育 7:223-228，2015.

郡 秀一

講演

1. 郡秀一：核小体染色によって観察される核小体内空胞の形態学的研究．第54回日本臨床細胞学会秋期大会，名古屋，2015年11月22日．

その他

1. 郡秀一：特集Q&Aで学ぶ病理・細胞診領域における遺伝子検査の基本3. 検査の方法と実際Question22 HPVの型と腫瘍の関連性について教えてください．Medical Technology臨床検査学雑誌 メディカル・テクノロジー 43巻10号：1064-1066，2015年10月15日．

出嶋 優華

講演

1. 橘田和幸，出嶋靖志，出嶋優華，鳥尾克二：観光資源の評価における健康関連項目について～第2報：観光・旅行産業による評価～．第80回日本民族衛生学会総会，筑波，2015年11月13-14日．

長谷川 瑠美

講演

1. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，樋口雅司，塚田岳大，加藤たか子，館野こずえ，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：下垂体前葉内S100タンパク質陽性細胞から分泌されるケモカインCXCL10はCRF刺激性ACTH分泌を抑制する．第88回日本内分泌学会学術総会，東京，2015年4月23-25日．
2. 堀口幸太郎，館野こずえ，藤原研，塚田岳大，八子英司，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤たか子，加藤幸雄：下垂体前葉の生後発達におけるS100 β 陽性細胞の挙動とその制御機構の解明．第30回日本下垂体研究会学術集会，富山，2015年8月5-7日．
3. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，樋口雅司，塚田岳大，加藤たか子，館野こずえ，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：下垂体前葉組織発達におけるS100 β 陽性細胞の挙動．第42回日本神経内分泌学会学術集会，仙台，2015年9月18-19日．

論文

1. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yako H², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y² (¹Jjchi University, ²Meiji University): Expression of *Slug* in S100 β protein-positive cells of the postnatal developing rat anterior pituitary gland. Cell Tissue Res. 363(2):513-524, 2016.

● 健康福祉学科 ●

金子 哲也

講演

1. 金子哲也：航空機騒音と健康影響．日本音響学会 2015年秋季研究発表会，会津，2015年9月16-18日．
2. 松塚雅博，石川友美，関健介，後藤恭一，金子哲也：50年余を隔てた甲府盆地地下水の水文変化に関する一考察．第74回日本公衆衛生学会，長崎，2015年11月4-6日．

論文

1. 後藤恭一¹，金子哲也（¹航空環境研究センター）：航空騒音による心身影響に関する疫学的研究．航空環境研究 20:49-50，2016.

出嶋 靖志

講演

1. 橘田和幸，出嶋靖志，出嶋優華，鳥尾克二：観光資源の評価における健康関連項目について～第2報：観光・旅行産業による評価～第80回日本民族衛生学会総会，弘前，2015年11月13-14日．

著書

1. 出嶋靖志：環境と健康．衛生学・公衆衛生学第2版第12刷．鈴木庄亮，高坂宏一，出嶋靖志，笹澤吉明共著．東洋療法学校協会編．東京，医歯薬出版，2015．p.71-128.

2. 出嶋靖志: 消毒法. 衛生学・公衆衛生学第2版第12刷. 鈴木庄亮, 高坂宏一, 出嶋靖志, 笹澤吉明共著. 東洋療法学校協会編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 201-216.
3. 出嶋靖志: ダブルベースHIYAMAノート〜シマンドル習得のために〜. 檜山ノート出版委員会編. 東京, ドレミ出版, 2015.

その他

1. 成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会委員 (2013年〜継続).

平成26年度分業績

講演

1. 橋田和幸, 出嶋靖志, 出嶋優華: 癌の死亡率と、TFR・母乳育児率・初産年齢との関係—先進国と途上国および、男女の比較. 第84回日本衛生学会学術総会, 岡山, 2014年5月25日-27日.
2. 橋田和幸, 出嶋靖志, 出嶋優華, 鳥尾克二: 観光資源の評価における健康関連項目について. 第79回日本民族衛生学会総会, 筑波, 2014年11月21日-22日.
3. 清水君恵, 出嶋靖志, 出嶋優華, 大木紫: 目隠し・耳栓の装着および室内環境が安静時の瞳孔観察によるストレスに及ぼす効果—心拍変動のスペクトル解析を用いた評価—. 第79回日本民族衛生学会総会, 筑波, 2014年11月21日-22日.

論文

1. 出嶋靖志 (杏林大・外・観光保健生態学): 観光における環境と健康の関わり—航空機客室の空気環境と健康影響— (Interaction between health and environment in the field of tourism-health and air pollution in the airliner cabins). 航空環境研究 18: 60-66, 2014.

著書

1. 出嶋靖志: 第4章環境と健康. 衛生学・公衆衛生学第2版第11刷. 鈴木庄亮, 高坂宏一, 出嶋靖志, 笹澤吉明共著. 東洋療法学校協会編. 東京, 医歯薬出版, 2014. p. 71-128.
2. 出嶋靖志: 第10章消毒法. 衛生学・公衆衛生学第2版第11刷. 鈴木庄亮, 高坂宏一, 出嶋靖志, 笹澤吉明共著. 東洋療法学校協会編. 東京, 医歯薬出版, 2014. p. 201-216.
3. 出嶋靖志: ダブルベースHIYAMAノート〜シマンドル習得のために〜. 檜山ノート出版委員会編. 東京, ドレミ出版, 2014.

その他

1. 成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会委員 (2013年〜継続).

照屋 浩司

講演

1. 岡本博照, 照屋浩司: 救急医療スタッフのストレス 地方と都市における救急医のストレスの比較. 第18回日本臨床救急医学会総会, 富山, 2015年6月5日.
2. 岡本博照, 照屋浩司: 救命救急センター勤務医師の抑うつ度について. 第43回日本救急医学会総会, 東京, 2015年10月23日.
3. 照屋浩司, 岡本博照, 楠田美奈, 松井知子, 角田透: 地域における運動相談事業への頻回の参加と高齢者の健康指標との関連について. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月5日.
4. 三宅英司, 照屋浩司: バドミントン競技における練習状況と疼痛に関する調査. 日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 2015年11月7日.

論文

1. 照屋浩司, 岡本博照, 角田透: 三鷹市民を対象とした健康増進事業について. 杏林医学会雑誌 46(2):159-

163, 2015.

2. Okamoto H, Hosoda T, Teruya K, Wada T: A cross-sectional study of the association between job stress and salivary amylase activity in Japanese urban emergency medical technicians. Journal of the Kyorin Medical Society 46(2):149-158, 2015.
3. 三宅英司, 渡邊要一, 八並光信, 照屋浩司: 地域包括ケアシステムの理解に及ぼす要因の検討と法人内連携について. 自立支援介護学 9(1):28-32, 2015.
4. Okamoto H, Teruya K, Nakata A, Yamaguchi Y, Matsuda T, Tsunoda T: Number of patients examined may affect natural killer cell activity in Japanese emergency physicians: A preliminary study. Japanese Journal of Health and Human Ecology 82(2):72-83, 2016.

著書

1. 照屋浩司: 最新臨床検査学講座 公衆衛生学. 東京, 医歯薬出版, 2016.
2. 照屋浩司: 身体活動, 運動. エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第7刷. 高島豊・櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 114-119.
3. 照屋浩司: 喫煙行動. エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第7刷. 高島豊・櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 118-125.

朝野 聡

講演

1. 朝野聡, 堀川浩之: 芝生と土のグラウンド滞在時の生理学的指標の比較. 日本芝草学会春季大会, 藤沢, 2015年6月21日.
2. 朝野聡: 健康な学校づくりとしての校庭芝生. ももしばフェスティバル, 東京, 2015年8月29日.
3. 大屋千鶴, 井手拓郎, 亀崎路子, 山下真理子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 朝野聡, 太田ひろみ: 大学生と当事者の連携による発達障害児の余暇支援ネットワーク生成に関する研究. 第74回日本公衆衛生学会総会学術講演会, 長崎, 2015年11月6日.

論文

1. 松橋明宏, 佐賀典生, 朝野聡: 土グラウンドと芝生グラウンドの違いがランニング時の身体活動に及ぼす影響. 人間科学研究 12:63-73, 2015.
2. 朝野聡, 堀川浩之, 福長一義, 大貫雅也, 小林杏奈, 小林千史, 田島治: 芝生と土グラウンドの環境の違いが生理学的応答に及ぼす影響. 芝草研究 44:142-147, 2016.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 太田ひろみ, 朝野聡, 井出拓郎, 亀崎路子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 太田真理子, 大谷千鶴: 大学生と当事者の連携による発達障害児の余暇活動支援の効果. 平成27年度杏林大学杏林CCRC研究所紀要, 162-165, 2016.

その他

1. 朝野聡: 船橋市市民大学校公開講座, 健康とコミュニケーション「交流分析(全4回)」, 2015年8-9月.

岡本 博照

講演

1. 岡本博照, 照屋浩司: 救急医療スタッフのストレス 地方と都市における救急医のストレスの比較. 第18回日本臨床救急医学会総会, 富山, 2015年6月5日.
2. 大谷正紀, 高木徹也, 岡本博照, 和田貴子, 北村修, 佐藤喜宣: A discussion of acetaldehyde concentration

in autopsy blood samples (検死時の血液試料におけるアセトアルデヒドの濃度に関する議論). 第99次日本法医学全国学術集会, 高知, 2015年6月11日.

- 岡本博照: 消防職員のストレスとメンタルヘルス. 秋田市消防本部第2回研修会, 秋田, 2015年8月10日.
- 岡本博照: 消防職員のストレスとメンタルヘルス. 秋田市消防本部第2回研修会, 秋田, 2015年8月11日.
- 岡本博照, 照屋浩司: 救命救急センター勤務医師の抑うつ度について. 第43回日本救急医学会総会, 東京, 2015年10月23日. (誌上発表)
- 照屋浩司, 岡本博照, 楠田美奈, 松井知子, 角田透: 地域における運動相談事業への頻回の参加と高齢者の健康指標との関連について. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月5日.
- 岡本博照: がんについて. 拓殖大学第一高等学校平成27年度生徒向け健康教育講演会. 武蔵村山, 2015年11月11日.
- 岡本博照: がんについて. 拓殖大学第一高等学校平成27年度教職員向け健康教育講演会. 武蔵村山, 2015年12月12日.

論文

- 照屋浩司, 岡本博照, 角田透¹ (杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室): 三鷹市民を対象とした健康増進事業について. 杏林医学会雑誌 46(2):159-163, 2015.
- Okamoto H, Hosoda T, Teruya K, Wada T: A cross-sectional study of the association between job stress and salivary amylase activity in Japanese urban emergency medical technicians. Journal of the Kyorin Medical Society 46(2):149-158, 2015.
- Okamoto H, Teruya K, Nakata A, Yamaguchi Y, Matsuda T, Tsunoda T: Number of patients examined may affect natural killer cell activity in Japanese emergency physicians: A preliminary study. Japanese Journal of Health and Human Ecology 82(2):72-83, 2016.

著書

- 岡本博照: エビデンスに基づく保健対策. エssenシャル社会・環境と健康 第2版第7刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.92-96.
- 岡本博照: 飲酒行動. エssenシャル社会・環境と健康 第2版第7刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.125-129.

特許等知的財産関係, 報告書

- 岡本博照: 一般財団法人ヘルス・サイエンス・センター 平成25年度助成研究「救命救急センター勤務医師の健康と職業性ストレスの解析」調査報告書 (代表研究者: 岡本博照).

その他

- 岡本博照: 救命救急センター勤務医全国調査 15%が「燃え尽き」疑い メンタルヘルス対策が急務. 日経メディカル No.578 2016年1月号, TOPICS, p.32.

片桐 朝美

論文

- 大木幸子, 片桐朝美: 生活保護受給世帯の若者自立支援における効果的支援技術とその構造. 杏林CCRC研究所紀要 2:158-161, 2016.

加藤 誠久

講演

- 田辺秀之, 加藤誠久, 関澤浩一: トリソミー細胞における染色体テリトリーの核内配置解析. 第33回染色体

ワークショップ・第14回核ダイナミクス研究会, 松島, 2016年1月12-14日.

北林 蒔子

講演

- 天竺志保, 福島教照, 高宮朋子, 北林蒔子, 岡浩一朗, 石井香織, 笹井浩行, 中田由夫, 田中茂穂, 大谷由美子, 小田切優子, 井上茂: 加速度計によるホワイトカラー勤労者における非肥満者と肥満者の座位時間・身体活動時間の比較. 第18回日本運動疫学会, 名古屋, 2015年6月20日.
- 福島教照, 高宮朋子, 北林蒔子, 岡浩一朗, 石井香織, 笹井浩行, 中田由夫, 田中茂穂, 大谷由美子, 小田切優子, 井上茂: 加速度計を用いて評価したホワイトカラー・ブルーカラー勤労者における身体活動・座位行動の比較. 第18回日本運動疫学会, 名古屋, 2015年6月20日.
- 北林蒔子: 高齢期の栄養. 群馬県栄養士会平成27年度生涯教育 (基本研修) 研修会, 前橋, 2015年9月4日.
- 北林蒔子: 新30歳の健康. 市川市役所職員栄養教室, 市川, 2015年11月2日.
- 北林蒔子, 高宮朋子, 大谷由美子, 小田切優子, 福島教照, 石橋弘子, 下光輝一, 井上茂: 日本人の食事摂取基準 (2015年版) を満たす栄養素摂取と抑うつ状態の関連について. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月5日.
- 石橋弘子, 高宮朋子, 北林蒔子, 大谷由美子, 小田切優子, 福島教照, 下光輝一, 駒田陽子, 井上雄一, 井上茂: 地方自治体職員における夕食摂取の時間帯及び栄養摂取状況と睡眠の質の関連. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月5日.
- 北林蒔子: 栄養学の観点から学ぶじゅんさい料理講習会. 三種町, 2016年2月23日.

論文

- 米山民恵¹, 大賀英史¹, 北林蒔子, 斎藤康裕², 岩田祥吾³ (小山市役所, ²須走歯科医院, ³南寿堂医院): 幼稚園と保育園の5歳児のためのマインドフルネスとソーシャルキャピタルに基づく食育プログラムの実践. 食生活研究 35(6):46-56, 2015.

下島 裕美

講演

- 下島裕美, 門馬博, 三浦雅文, 齊藤昭彦, 蒲生忍: 患者全体像の把握と目標設定の熟達化ー医療従事者と学生の比較ー. 日本認知心理学会第13回大会, 東京, 2015年7月5日.
- 下島裕美: 死生学教育: 認知心理学からのアプローチ. 杏林大学CCRC研究所金曜サロン: 死生学, 三鷹, 2015年7月24日.
- 下島裕美, 石川智: 死にゆく過程の疑似体験と時間的展望の変化ー五色カード法とZimbardo Time Perspective Inventoryを用いてー. 日本心理学会第79回大会, 名古屋, 2015年9月22日.
- 有馬明恵, 下島裕美, 竹下美穂: PTA役員未経験者の意識調査 (1)ー父母の比較ー. 日本社会心理学会第56回大会, 東京, 2015年11月1日.
- 下島裕美, 有馬明恵, 竹下美穂: PTA役員未経験者の意識調査 (2)ーPTA肯定派と否定派の比較ー. 日本社会心理学会第56回大会, 東京, 2015年11月1日.
- 下島裕美: 認知症を体験する. 杏林大学CCRC研究所金曜サロン: 死生学, 三鷹, 2015年11月20日.
- 下島裕美, 島田正亮: 大学生を対象とした男女共同参

画ワールドカフェー同性グループと異性グループにおける意見の多様性への気づきの比較－. 日本学校メンタルヘルス学会第19回大会, 東京, 2016年1月30日.

論文

1. 下島裕美: 自己と他者の終末期エピソードへの意識が時間的展望に与える影響. 杏林大学研究報告教養部門 33:41-48, 2015.
2. 下島裕美, 島田正亮¹(¹杏林大・医・総合医療学教室): 授業外と授業内における課題実施の比較. 杏林教職課程年報 2:25-33, 2016.
3. 下島裕美, 蒲生忍¹(¹杏林大・CCRC研究所): 金曜サロン: 死生学 報告. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 2:103-111, 2016.

松井 知子

講演

1. 松井知子: メンタルヘルス(社内研修の進め方)～セルフケア～. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2015年4月27日.
2. 松井知子: 教職員のメンタルヘルス ラインケア研修 2015年度副校長ベーシックプログラム. 東京都教育委員会, 福島, 2015年7月27日.
3. 松井知子: 産業領域におけるストレスチェック～その取り扱い方～. 佐賀県臨床心理士会研修会, 佐賀, 2015年7月12日.
4. 松井知子: 厚生労働行政と産業・組織心理臨床との関わり. 日本臨床心理士会臨床心理継続講座～産業・組織心理臨床基礎研修, 東京, 2015年9月13日.
5. 森口修三, 新田泰生, 松井知子, 松浦真澄(他6名): 産業・心理臨床におけるクライアントが抱える問題への直面化をめぐる～有効な建設的コンフロンテーション, そして周囲へのコンサルテーションを考える～. 第34回日本心理臨床学会秋季大会, 神戸, 2015年9月20日.
6. 三宅美樹, 尾上豊明, 廣川進, 松井知子, 金井篤子: 心理士がはじめて組織に入るときー職場・組織への心理士の参入を成功させる秘訣とはー. 第34回日本心理臨床学会秋季大会, 神戸, 2015年9月20日.
7. 松井知子: メンタルヘルス(社内研修の進め方)～ラインケアとストレスチェック制度～. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2015年10月26日.
8. 照屋浩司, 岡本博照, 楠田美奈, 松井知子, 角田透: 地域における運動相談事業への頻回の参加と高齢者の健康指標との関連について. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月5日.
9. 藤井奈津子, 渋谷英雄, 市川佳居, 松井知子, 角田透: チャットツール利用の意向調査ー勤労者と学生における調査から探るEAPでの活用可能性ー. 第31回日本ストレス学会学術総会, 三鷹, 2015年11月7日.
10. 渋谷英雄, 藤井奈津子, 市川佳居, 松井知子, 角田透: レジリエンス力向上プログラムの効果測定の試み. 第31回日本ストレス学会学術総会, 三鷹, 2015年11月8日.
11. 松井知子, 角田透: 現場ニーズに基づいた事業所担当者のためのメンタルヘルス対策支援ツールの開発. 第80回日本民族衛生学会, 弘前, 2015年11月13日.
12. 松井知子, 森崎美奈子, 角田透: 事業所担当者のためのメンタルヘルス対策支援ツールの開発. 第23回日本産業ストレス学会, 京都, 2015年12月12日.
13. 藤里智子, 東川麻子, 松井知子, 廣川進, 松浦真澄, 森崎美奈子: ストレスチェック制度に関する心理職への研修プログラム開発の試み(1). 第23回日本産業ストレス学会, 京都, 2015年12月12日.
14. 松浦真澄, 東川麻子, 松井知子, 廣川進, 藤里智子,

森崎美奈子: ストレスチェック制度に関する心理職への研修プログラム開発の試み(2), 第23回日本産業ストレス学会, 京都, 2015年12月12日.

論文

1. 松井知子, 森崎美奈子¹(¹京都文教大学): 産業心理臨床の修羅場・土壇場・正念場, その醍醐味. 心理臨床の広場 8(1):12-13, 2015.

著書

1. 松井知子: 対策の基本的な種類・優先順位～何をすればよいのか～. 職場のメンタルヘルス対策-Q&Aと相談事例ー. 錦戸典子編著. 名古屋, 新日本法規, 2015. p.19-42.
2. 松井知子: 職場ごとのストレス要因の把握と環境改善. 職場のメンタルヘルス対策-Q&Aと相談事例ー. 錦戸典子編著. 名古屋, 新日本法規, 2015. p.98-116.
3. 松井知子: 不調者を生まない元気な職場風土づくり. 職場のメンタルヘルス対策-Q&Aと相談事例ー. 錦戸典子編著. 名古屋, 新日本法規, 2015. p.277-295.

荻津 真理子

講演

1. 荻津真理子: 心のケアと教育相談的対応. 10年経験者研修講座(養護教諭), 笠間, 2015年7月8日.
2. 荻津真理子: 緊急時の対応についてー食物アレルギーの対応を中心にー. 茨城県学校保健会東茨城支部夏季研修会, 小美玉, 2015年8月3日.
3. 荻津真理子: 学校における保健指導のあり方. 石岡市教育研究会研究発表会, 石岡, 2015年8月6日.
4. 荻津真理子: 食物アレルギーの対応についてーアナフィラキシー発症へのチーム対応ー. 常陸太田市学校保健会保健主事研修会, 常陸太田, 2015年8月11日.
5. 荻津真理子: 児童生徒の健康診断について. 養護教諭研修会, 笠間, 2015年10月2・15・21・26日.
6. 荻津真理子: 学校における救命救急の体制づくりーアナフィラキシーへの対応を中心にー. 茨城県高等学校・県立学校保健主事研究協議会, 水戸, 2015年10月2日.
7. 関健介, 荻津真理子, 松塚雅博, 金子哲也: 中学校体育系運動部所有の救急箱に關しての現状及び意識調査. 第74回日本公衆衛生学会, 長崎, 2015年11月4日.
8. 白橋ひろ子, 大和久清子, 高瀬初美, 荻津真理子, 渡辺ルカ, 内田敦美, 久場陽子, 大谷尚子: 学校における医療用医薬品の保管・使用に関する現状と課題(第2報)ー慢性疾患を抱える子どもたちの学校生活を支援するためにー. 日本学校救急看護学会第10回学術集会, 東京, 2015年12月19日.

論文

1. 荻津真理子, 高瀬初美¹, 白橋ひろ子², 大和久清子³, 渡辺ルカ⁴, 内田敦美⁵, 久場陽子¹, 大谷尚子⁶(¹柏特別支援学校, ²伊東市立南小, ³横浜高等教育専門学校, ⁴船橋北高校, ⁵宮代特別支援学校, ⁶養護実践研究センター): 学校における医療用医薬品の保管・使用に関する現状と課題(第2報)ー慢性疾患を抱える子どもたちの学校生活を支援するためにー. 学校救急看護研究 9(1):66-75, 2016.

著書

1. 荻津真理子: 頻回来室者への対応, 付き添い者への対応. 改訂 養護実習ハンドブック. 大谷尚子, 中桐佐智子編著. 京都, 東山書房, 2015. p.146-152.

その他

1. 荻津真理子: 日常対応における手当てや保健指導の工夫. 心とからだの健康 19(9):23-25, 2015年9月1日発行.

関澤 浩一

講演

1. 田辺秀之, 加藤誠久, 関澤浩一: トリソミー細胞における染色体テリトリーの核内配置解析. 第33回染色体ワークショップ・第14回核ダイナミクス研究会, 松島, 2016年1月12-14日.
2. Hiraoka A, Sekizawa K, Kondo H: Enhancement by arylsulfonates of the bleomycin-induced damage to cultured melanoma cells. The 52nd Japanese Peptide Symposium 2015, Hiratuka, Japan, November 16th-18th, 2015.

松塚 雅博

講演

1. 松塚雅博, 石川友美, 関健介, 金子哲也: 水質プロフィールによる多摩西部と八王子湧水の検討. 環境科学会2015年会, 大阪, 2015年9月7-8日.
2. 松塚雅博, 関健介, 出島靖志, 後藤恭一, 石川友美, 金子哲也: 50年余りを隔てた甲府盆地地下水系の水文変化に関する一考察. 第74回日本公衆衛生学会, 長崎, 2015年11月4-6日.
3. 関健介, 荻津真理子, 松塚雅博, 金子哲也: 中学校体育系運動部所有の救急箱に関する現状及び意識調査. 第74回日本公衆衛生学会, 長崎, 2015年11月4-6日.

その他

1. 佐藤悠太・谷地川探検隊(環境保健学): 八王子市に存在する湧水の飲用性に関する検討. 第7回大学コンソーシアム八王子学生発表会. 八王子2015年12月5日. 優秀賞受賞.

井上 敦

著書

1. 井上敦: 実践力の基礎となる臨床的態度. 臨床社会福祉学の展開. 足立勲編著. 東京, 学文社, 2015. p. 34-52.

● 救急救命学科 ●

川村 治子

講演

1. 川村治子: 医療安全. 青梅慶友病院講演会, 青梅, 2015年10月30日.
2. 川村治子: 医療従事者の事故防止対策のヒント. 第8回三鷹医師会医療安全講演会, 三鷹, 2015年11月4日.
3. 川村治子: 医療安全. よみうりランド慶友病院講演会, 稲城, 2015年11月19日.
4. 川村治子: 病院における転倒・転落の発生要因と対策. 日本転倒予防学会転倒予防指導士基礎講習会, 東京, 2016年2月14日.
5. 川村治子: 医療安全. 横須賀共済病院講演会, 横須賀, 2016年3月12日.

阪本 奈美子

講演

1. 阪本奈美子, 長谷川範幸, 町田光司, 花田裕之, 齋藤兄治, 齋藤陽子, 和田貴子: 青森県における死後CT検討会開催の試み. 第43回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2015年10月21-23日.

和田 貴子

講演

1. 千田晋治, 和田貴子, 小泉健雄, 神山麻由子, 久保佑美子, 久米梢子: 応急手当普及率向上のための一方策(バイスタンダーによる応急手当実施率を向上させる方法として). 第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 富山, 2015年6月4-6日.
2. 大谷正紀, 高木徹也, 岡本博照, 和田貴子, 北村修, 佐藤喜宣: A discussion of acetaldehyde concentration in autopsy blood samples (検死時の血液試料におけるアセトアルデヒドの濃度に関する議論). 第99次日本法医学全国学術集会, 高知, 2015年6月11日.
3. 小泉健雄, 和田貴子, 千田晋治, 神山麻由子, 久保佑美子, 井田喜明, 山口芳裕: BLS指導に携わった救急救命士学科学生の意識変容調査. 第43回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2015年10月21-23日.
4. 阪本奈美子, 長谷川範幸, 齋藤兄治, 町田光司, 花田裕之, 齋藤陽子, 和田貴子: 「青森県死後CT検討会」開催の試み. 第43回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2015年10月21-23日.

論文

1. Okamoto H, Hosoda T, Teruya K, Wada T: A cross-sectional study of the association between job stress and salivary amylase activity in Japanese urban emergency medical technicians. Journal of the Kyorin Medical Society 46(2):149-158, 2015.
2. 和田貴子: 温熱・寒冷による疾患. 内科学11版 18: 2347-2353, 2016. (印刷中)

その他

1. 和田貴子: 第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 富山, 2015年6月4-6日. (座長)
2. 和田貴子: 第44回杏林医学会, 三鷹, 2015年11月21日. (座長)

神山 麻由子

講演

1. 千田晋治, 和田貴子, 小泉健雄, 神山麻由子, 久保佑美子, 久米梢子: 応急手当普及率向上のための一方策(バイスタンダーによる応急手当実施率を向上させる方法として). 第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 富山, 2015年6月4-6日.
2. 小泉健雄, 和田貴子, 千田晋治, 神山麻由子, 久保佑美子, 井田喜明, 山口芳裕: BLS指導に携わった救急救命士学科学生の意識変容調査. 第43回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2015年10月21-23日.

久保 佑美子

講演

1. 千田晋治, 和田貴子, 小泉健雄, 神山麻由子, 久保佑美子, 久米梢子: 応急手当普及率向上のための一方策(バイスタンダーによる応急手当実施率を向上させる方法として). 第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 富山, 2015年6月4-6日.
2. 小泉健雄, 和田貴子, 千田晋治, 神山麻由子, 久保佑美子, 井田喜明, 山口芳裕: BLS指導に携わった救急救命士学科学生の意識変容調査. 第43回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2015年10月21-23日.

● 看護学科・看護学専攻 ●

基礎・在宅看護学研究室

講演

1. 山本君子：介護施設勤務の介護福祉士が捉える”その人らしさ”。日本ケアマネジメント学会第14回研究大会，横浜，2015年6月13-14日。
2. 柴崎美紀，原田静香，美ノ谷新子，宮近郁子，丸山美知子，入野豊，山口豊子，米澤純子：在宅がんターミナルケアを支えるケアマネジャーのための研修会（第一報）—公開討論会を企画した経緯—。第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会，茨城，2015年6月13-14日。
3. 美ノ谷新子，柴崎美紀，原田静香，宮近郁子，丸山美知子，入野豊，山口豊子，米澤純子：在宅がんターミナルケアを支えるケアマネジャーのための研修会（第二報）—公開討論会の実施と評価—。第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会，茨城，2015年6月13-14日。
4. 伊藤まゆみ，金子多喜子，大場良子，藤塚美奈子，難波美恵子：看護師の終末期ケア効力感に対する介入支援の効果。第20回日本緩和医療学会学術大会，横浜，2015年6月18-20日。
5. 山本君子，森下純子，佐藤智子，太田淳子：高齢者の「生きがい感」を高める要因。日本看護研究学会第41回学術集会，広島，2015年8月22-23日。
6. 金子多喜子：平成27年度新人看護職員研修ガイドラインに基づく研修「教育担当者研修」，茨城，2015年8月24日。
7. 金子多喜子：第3回終末期ケア看護師カウンセリング研修，東京，2015年8月25-26日。
8. Shibata S, Kaji M, Suzuki E: The sense of difficulty that nurses feel when visiting patients at home to provide discharge support in Japan. The 12th International Family Nursing Conference, Denmark, August 18th-21st, 2015.
9. 金子多喜子，関谷大輝，伊藤まゆみ：看護師の職務における感情調整に関する探索的検討。日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第17回大会，東京，2015年9月26-27日。
10. 清水典子，天野雅美，山本君子：中規模病院の連携における新人看護師合同研修実態および効果。看護教育研究学会学術集会，東京，2015年10月10日。
11. 金子多喜子：平成27年度新人看護職員教育担当者研修，東京，2015年11月5-6日。
12. 柴崎美紀：がん患者の心理とケア—地域医療の立場から—。第16回日本臨床リハビリテーション心理研究会，東京，2015年11月8日。
13. 布田和恵：平成27年度介護福祉士受験準備講座こころとからだのしくみ。横浜市福祉サービス協会，横浜，2015年11月25日。
14. 柴崎美紀：入院前中後，看護師ならではの栄養管理はなにか—各領域に携わるナースからの提言—地域一体型NSTの構築に向けて看護師に期待される役割。第30回日本静脈経腸栄養学会，福岡，2016年2月12-13日。
15. 神田由佳，糟谷明範，今村恭子，石田英一郎，原田聡子，鈴木康之，柴崎美紀，中西陽一：参加型ワークショップ「たまケアLIVE」を通して見える食支援へのニーズと可能性についての一考察。第30回日本静脈経腸栄養学会，福岡，2016年2月12-13日。
16. 石山寿子，横山雄士，柴崎美紀，岩田博美，大西由夏，加藤和子，中西陽一，丸山道生：地産地消を目指した多職種による新しい食支援活動の試み 多摩地域「いた

だきますの会」の報告（第一報）。第30回日本静脈経腸栄養学会，福岡，2016年2月12-13日。

論文

1. 佐藤ユキ子，山本君子，天野雅美：救命蘇生現場への家族立ち会いの看護師長の意識。看護教育研究学会誌 7(1):15-25, 2015.
2. 柴崎美紀：在宅療養者および家族の食事と栄養に関するニーズに関連が強い医療専門職のチーム構成に関する検討。杏林医学会雑誌 46(4):263-271, 2015.
3. 布田和恵：ホームレスの受療行動に関する研究—受療行動に焦点をあてて—。日本福祉教育専門学校研究紀要 23(1):57-67, 2015.
4. 伊藤まゆみ¹，金子多喜子，大場良子²，藤塚美奈子¹（¹ 共立女子大学，² 埼玉県立大学）：終末期ケアに携わる看護師のストレスに起因したポジティブな変化がバーンアウトに及ぼす影響。共立女子大学看護学雑誌 3(3):3, 2016.

著書

1. 法橋尚宏，山本君子他：ラ・スパ過去問対策2016 第104回看護師国家試験問題 解説書 第4巻。東京，医学評論社，2015. p. 5, 14, 17, 25, 26.
2. 法橋尚宏，佐藤智子他：ラ・スパ過去問対策2016 第104回看護師国家試験問題 解説書 第4巻。東京，医学評論社，2015. p. 109-111, 135.
3. 市川砂織，中島恵美子，山本君子他：末梢神経障害。Oncology NURSE エビデンス&実践テクニック 特集1 私はこう対応する！化学療法の副作用対策 エキスパートの実践事例。名古屋，日総研，2015. p. 3-9.
4. 中島恵美子，山本君子他：脱毛。Oncology NURSE エビデンス&実践テクニック 特集1 私はこう対応する！化学療法の副作用対策 エキスパートの実践事例。名古屋，日総研，2015. p. 31-39.
5. 加治美幸：看護におけるK（危険）Y（予知）T（トレーニング）全3巻。佐藤みつこ監修，川村真由美，横山正江，加治美幸指導，東京，株式会社ビデオ・パック・ニッポン，2015.
6. 布田和恵：こころとからだのしくみ。2015年度介護福祉士全国統一模擬試験（第1回・第2回）。介護福祉士国家試験対策研究会編集。東京，中央法規出版株式会社，2015.
7. 津田美智子他：第105回看護師国家試験対策必修問題スピードテスト問題・解説。TECOM. 東京，T・M・S，2015. p. 98, 107, 113, 159, 120.
8. 津田美智子他：第105回看護師国家試験対策プレテスト-2nd問題・解説。TECOM. 東京，T・M・S，2015. p. 261, 262, 267, 285, 287, 334, 372, 421.
9. 津田美智子他：第105回看護師国家試験対策プレテスト-3rd問題・解説。TECOM. 東京，T・M・S，2015. p. 533, 537, 616, 632, 653, 691, 703.
10. 柴崎美紀：サードスペースって，どこにあるスペース？。ナースのためにナースが書いたココが知りたい栄養ケア。矢吹浩子編。山中英治医学監修。東京，照林社，2016. p. 74-75.
11. 柴崎美紀：浸透圧の単位「mOsm/L」って何？。ナースのためにナースが書いたココが知りたい栄養ケア。矢吹浩子編。山中英治医学監修。東京，照林社，2016. p. 76-77.
12. 柴崎美紀：そもそも，「浸透圧」って何？。ナースのためにナースが書いたココが知りたい栄養ケア。矢吹浩子編。山中英治医学監修。東京，照林社，2016. p. 78-79.
13. 柴崎美紀：血漿浸透圧，晶質浸透圧，膠質浸透圧 何が違うの？。ナースのためにナースが書いたココが知

い栄養ケア。矢吹浩子編。山中英治医学監修。東京、照林社、2016。p.80-81。

14. 金子多喜子：高尿酸血症。経過がみえる疾患別病態関連マップ第2版。山口瑞穂子，関口恵子監修。東京，学研，2016。p.80-81。
15. 金子多喜子：看護師自身の感情に対処するメンタルヘルスのための自己調節。看護に活かすカウンセリングⅡ。伊藤まゆみ編。名古屋，ナカニシヤ出版，2016。p.77-93。

その他

1. 柴崎美紀：美味しく食べること，スッパリ出すこと，それを手伝えること。感性の輝き連載第26回目，地域リハビリテーション 10(8)，p.610，2015年8月15日。
2. 布田和恵：介護福祉士介護実技試験実地試験委員，社会福祉振興・試験センター，2016年3月5-6日。

成人・高齢者看護学研究室

講演

1. 伊藤有美：重症患者の栄養管理。日本集中治療医学会主催2015年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース)，大阪，2015年7月9-11日。
2. 松下美穂子：看護師中途採用者の臨床適応上の問題点と教育・支援のあり方。第19回日本看護管理学会学術集会，郡山，2015年8月28-29日。
3. 伊藤有美：重症患者の栄養管理。日本集中治療医学会主催2015年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース)，東京，2015年9月3-5日。
4. 伊藤有美：Module 2 疼痛管理。京都大学大学院主催ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラム，京都，2015年9月26-27日。
5. 吉井真美：造血幹細胞移植患者のリハビリテーション～活動促進のための運動プログラムの実施とその効果～。多摩SCTconference 2015，立川，2015年10月30日。
6. 中島恵美子：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業がん患者コーディネーター養成(インテンシブ)コース，三鷹，2015年9月9日-12月11日。

その他

1. 中島恵美子：私はこう対応する！化学療法の副作用対策 エキスパートの実践事例 嘔気・嘔吐。Oncology NURSE 9(1)：24-30，2015。
2. 吉井真美：私はこう対応する！化学療法の副作用対策 エキスパートの実践事例 骨髄抑制。Oncology NURSE 9(1)：17-23，2015。

母子看護学研究室

講演

1. Matsuoka M, Ota N：An Educational Infrastructure to Promote Conceptual Understanding of Study During Antenatal Examination Clinical Practice Sessions for Midwifery Students in a Master Degree Program. The 11th International Confederation of Midwives Asia Pacific Regional Conference, Yokohama, July 21st, 2015。

著書

1. 長田知恵子：生まれた赤ちゃんに関する質問，授乳に関する質問。エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問92。堀内成子総編。東京，南江堂，2015。p.149，158-159，162-167，171-175，190-193。

特許等知的財産関係，報告書

1. 谷口綾：緊急帝王切開を受けた女性の産後3～4か月までの心理的プロセスに関する研究。科学研究費補助金

(研究活動スタート支援) 2013-2014年度研究成果報告書。

助産学研究室

講演

1. 加藤千晶，深澤洋子：当院における双胎分娩事情 Our Hospital's Policy Regarding Twin Births. 第11回 ICMアジア太平洋地域会議助産学術集会，横浜，2015年7月20-22日。
2. 加藤千晶：安心・快適な出産と分娩監視。第46回日本分娩監視研究会，横浜，2015年10月31日。

小児看護学研究室

講演

1. 西田志穂，飯村直子，吉野純，中村明子，込山洋美，赤津美雪：地域社会における子育て支援に関連する文献検討 第1報－子どもの健康に関する親の予防行動および対処行動－。第25回日本小児看護学会学術集会，千葉，2015年7月25-26日。
2. 中村明子，吉野純，飯村直子，西田志穂，込山洋美，赤津美雪：地域社会における子育て支援に関連する文献検討 第2報－病児保育の現状－。第25回日本小児看護学会学術集会，千葉，2015年7月25-26日。
3. 岩田洋子：外来における看護支援 終末期に在宅で過ごす子どもの入院時期のアセスメント。第13回小児がん看護学会学術集会，甲府，2015年11月27-29日。

地域看護学研究室

講演

学会・研究会，ポスターセッション

1. 加藤昌代：カウンセリングワークショップ。第594回NP0 法人日本精神療学会，前橋，2015年4月18-19日。
2. 加藤昌代：カウンセリングワークショップ。第601回NP0 法人日本精神療学会，長野，2015年8月29-30日。
3. 中澤真由美，鈴木弘子，土屋由利子，石原道子，石上ゆか，五島敦子，巻島富士美，川又協子，大木幸子：重症心身障害児(者)の訪問看護師が困難と感じている課題について アンケート調査報告。第41回日本重症心身障害学会学術集会，東京，2015年9月18-19日。
4. 戸ヶ里泰典，井上洋士，若林チヒロ，細川陸也，矢島嵩，高久陽介，板垣貴志，大木幸子：ゲイ・バイセクシャルであるHIV陽性者の身体症状に関連する心理社会的要因とは。第74回日本公衆衛生学会総会，長崎，2015年11月4-6日。
5. 阿部桜子，井上洋士，戸ヶ里泰典，細川陸也，板垣貴志，片倉直子，山内麻江，高久陽介，矢島嵩，若林チヒロ，大木幸子：HIV陽性男性におけるSafer Sex Fatigueの広がり性と性行動，性に関する相談状況との関連性の検討。第29回日本エイズ学会学術集会，東京，2015年11月30日-12月1日。
6. 細川陸也，井上洋士，戸ヶ里泰典，阿部桜子，板垣貴志，片倉直子，山内麻江，高久陽介，矢島嵩，若林チヒロ，大木幸子：子どもを持つHIV陽性者の子育てへの思い。第29回日本エイズ学会学術集会，東京，2015年11月30日-12月1日。
7. 鈴木達郎，井上洋士，板垣貴志，戸ヶ里泰典，細川陸也，阿部桜子，片倉直子，山内麻江，高久陽介，矢島嵩，若林チヒロ，大木幸子：HIV陽性者対象の質問紙調査回答経験の有無と関連する属性・特性に関する検討。第29回日本エイズ学会学術集会，東京，2015年11月30日-12月1日。

8. 戸ヶ里泰典, 井上洋士, 細川陸也, 阿部桜子, 板垣貴志, 片倉直子, 山内麻江, 高久陽介, 矢島嵩, 若林チヒロ, 大木幸子: HIV陽性男性における薬物使用状況と抗HIV薬内服状況およびハイリスク性行動との関連. 第29回日本エイズ学会学術集会, 東京, 2015年11月30日-12月1日.
9. 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 細川陸也, 阿部桜子, 板垣貴志, 片倉直子, 山内麻江, 佐藤未光, 高久陽介, 矢島嵩, 若林チヒロ, 大木幸子: MSMのHIV陽性者における性コントロール感有無とスティグマとの関連の検討. 第29回日本エイズ学会学術集会, 東京, 2015年11月30日-12月1日.
10. 加藤昌代, 佐藤睦子, 小松実弥, 大木幸子, 山口佳子, 高城智圭: 実習前後の看護学生の高齢者と精神障害者に対するイメージの変化. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会, 東京, 2016年1月23-24日.
11. 大木幸子: HIV感染症とセクシュアルヘルス. 日本HIV看護学会, 札幌, 2016年3月5日.
12. 加藤昌代: カウンセリングワークショップ. 第611回NPO法人日本精神療学会, 長野, 2016年3月19-20日.

地域の講演会, 研修会

1. 大木幸子: 保健師の行う地区診断とその目指すもの. 所沢市地区診断研修会, 所沢, 2015年5月8日.
2. 大木幸子: HIV陽性者の地域支援. 東京都HIV/AIDS症例懇話会, 東京, 2015年6月27日.
3. 大木幸子: 個別支援について考える～家族アセスメントを中心に～. 横浜市保健師1年目研修(第1回), 横浜, 2015年7月23日.
4. 大木幸子: 保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第1回, 青森, 2015年8月11日.
5. 大木幸子: 地域の仲間といっしょに生涯健康生活!. 日の出町健康推進員交流会, 日の出町, 2016年9月7日.
6. 大木幸子: 保健師としての支援とは. 品川区荏原保健センター, 東京, 2015年9月14日.
7. 大木幸子: 地域診断の注目ポイント. 地域診断中間報告会, 所沢, 2015年10月16日.
8. 大木幸子: 困難事例対応のスキル向上. 多摩府中保健所, 武蔵野, 2015年10月28日.
9. 大木幸子: 要支援家庭をとおしてみる家族アセスメントの方法. 柏, 2015年10月30日.
10. 大木幸子: 個人・家族を取り巻く社会環境のアセスメント. 横浜市保健師1年目研修(第2回), 横浜, 2015年12月21日.
11. 大木幸子: 個別支援において重要な視点と保健師の役割. 横浜市保健師1年目研修(第2回), 横浜, 2015年12月21日.
12. 大木幸子: 個別支援活動を地域診断につなげる. 町田市保健所研修会, 町田, 2015年12月15日.
13. 大木幸子: 高齢者支援における家族アセスメントについて. 府中市高齢者支援課研修会, 府中, 2016年1月7日.
14. 大木幸子: 保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第2回, 青森, 2015年1月16日.
15. 大木幸子: 児童虐待により受傷したケースの支援を振り返る. 厚木市保健センター, 厚木, 2016年1月21日.
16. 大木幸子: 専門職による記録の描き方～行政における支援職に期待される相談記録～. 横浜市西区訪問指導事業研修, 横浜, 2016年2月26日.
17. 大木幸子: 地区活動計画と評価. 所沢市保健センター地区診断報告会, 所沢, 2016年3月1日.
18. 大木幸子: 重症心身障害児の生活. 重症心身障害児訪問看護事業調査報告会, 東京, 2016年3月3日.

論文

1. Togari T¹, Inoue Y¹, Takaku Y², Abe S³, Hosokawa R⁴, Itagaki T⁵, Yoshizawa S⁶, Oki S, Katakura N⁷, Yamauchi A⁸, Wakabayashi C⁹, Yajima T² (¹The Open University of Japan, ²Japan Network of People Living with HIV/AIDS, ³TIS Inc, ⁴Nagoya City University, ⁵accelight inc, ⁶ANGEL LIFE NAGOYA, ⁷Kobe City College of Nursing, ⁸Tokyo Medical University, ⁹Saitama Prefectural University): Recreational drug use and related social factors among HIV-positive men in Japan. AIDS Care. 28(7):932-940, 2016.
2. 加藤昌代: 真のカウンセリングの先にあるもの. NPO法人日本精神療学会誌 1:46-53, 2015
3. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第4回)【事例2】家族の意向の背景やキーパーソンの意味を検討する. 保健師ジャーナル 71(4):346-351, 2015.
4. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第5回)【事例3】図示による可視化で関係性をアセスメントする. 保健師ジャーナル 71(5):436-441, 2015.
5. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第6回)【事例4】支援過程を振り返り保健師の責任について検討する. 保健師ジャーナル 71(6):526-532, 2015.
6. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第7回)【事例5】相談場面を振り返り, 保健師の感情の動きに着目する. 保健師ジャーナル 71(7):628-634, 2015.
7. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第8回)【事例6】事例の共有が担当者を支えたケース. 保健師ジャーナル 71(8):718-723, 2015.
8. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第9回)【事例7】支援展開の時間軸に注目し, 保健師の感情を振り返る. 保健師ジャーナル 71(9):802-808, 2015.
9. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第10回)【事例8】保健師の規範との相反による葛藤を整理する 保健師ジャーナル 71(10):880-886, 2015.
10. 大木幸子: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第11回)【事例9】死亡事例の支援過程を振り返る. 保健師ジャーナル 71(11):972-977, 2015.
11. 細川陸也¹, 井上洋士², 戸ヶ里泰典², 阿部桜子³, 矢島嵩⁴, 板垣貴志⁵, 大木幸子⁶, 片倉直子⁶, 若林チヒロ⁷, 山内麻江⁸, 高久陽介⁴(¹名古屋市立大, ²放送大, ³TIS株式会社, ⁴日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス, ⁵株式会社アクセライト, ⁶神戸市看護大, ⁷埼玉県立大, ⁸東京医科大学看護専門学校): HIV陽性者の医療機関への受診状況 HIV治療を目的とした医療機関および, HIV治療目的以外の一般医療機関への受診. 日本エイズ学会誌 18(1):40-50, 2016.

著書

1. 大木幸子: 公衆衛生学の概要. 日本製菓衛生全書. 東京, 日本菓子教育センター, 2016. p.66-81.
2. 大木幸子: 環境衛生. 日本製菓衛生全書. 東京, 日本菓子教育センター, 2016. p.82-96.
3. 加藤昌代: 感染症の予防. 製菓衛生師全書. 東京, 日本菓子教育センター, 2016. p.97-108.
4. 小松実弥: 生活習慣病の予防. 製菓衛生師全書. 東京, 日本菓子教育センター, 2016. p.108-114.

特許等知的財産関係、報告書

1. 大木幸子:地域の相談支援機関利用による薬物使用HIV陽性者の回復事例の調査. 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)平成27年度地域においてHIV陽性者と薬物使用者を支援する研究 総括・分担研究報告書総合報告書.
2. 仲尾唯治, 沢田貴志, 廣野富美子, 津山直子, 山本裕子, 則光明華, 大木幸子: 全国自治体における在日外国人住民に関するHIV対策についての現状と課題(平成27年度)ー外国人HIV対応施策における先進自治体と困難自治体への質的調査を通した行政分析をめざしてー, 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)平成27年度 外国人におけるエイズ予防指針の実効性を高めるための方策に関する研究 研究報告書.

その他

1. 大木幸子, 河西あかね, 増山由起, 石井えり子, 尾崎遥: 見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第12回)事例検討会を有効に活用するには 連載のわりに(座談会), 保健師ジャーナル 71(12), 2015, p. 1057-1063.

精神看護学研究室

講 演

1. 渡部小夜子, 江波戸和子: 精神科慢性期病棟における行動制限最小化への取り組みの振り返りと影響要因の抽出. 第40回日本精神科看護技術協会全国大会, 福島, 2015年6月18-20日.
2. 田野将尊, 茅根寛子, 渡辺純一, 竹島勝義, 佐藤圭一, 佐藤美保, 浅沼奈美: 精神看護学実習のプロセスレコード指導における臨床指導者の困難. 日本精神保健看護学会第25回学術集会, つくば, 2015年6月27-28日.
3. 江波戸和子: 東京都地域精神科身体合併症救急連携モデル事業. 一般医療機関の看護師対象研修「一般科における臨床で役立つ精神科看護のコツ」. 小平, 2015年10月20日.
4. 岩田理恵, 高館京宏, 佐藤留美, 新井麻友子, 中山順子, 福田恵理香, 笠松恒司, 大井洋, 佐藤美保, 浅沼奈美: 町田市ひきこもり者支援体制推進事業の取り組み第2報ひきこもり当事者の意識調査. 第11回東京都福祉保健医療学会, 東京, 2015年12月17日.
5. 江波戸和子: 看護スペシャリスト教育 向精神薬と看護. 薫風会山田病院, 田無, 2016年1月12日.
6. 原政代, 村田礼子, 藤田恭子, 浅沼奈美: 生活保護受給者の健康支援における保健師の役割. 第4回日本公衆衛生看護学会ワークショップ, 東京, 2016年1月24日.
7. 浅沼奈美: 援助について考える. 東京都精神保健福祉研修(後期)地域援助技術研修・中級. 東京都中部総合精神保健福祉センター, 東京, 2016年1月29日.
8. 江波戸和子: 発達障害を考える. 多摩南医療圏 看護管理者研修会, 府中, 2016年2月25日.
9. 江波戸和子: 精神科における臨床の倫理を看護の視点から考える. 日本心理教育・家族教室ネットワーク第19回研究集会シンポジスト, 東京, 2016年3月21日.

論 文

1. 浅沼奈美: 「人として当たり前前に街で暮らす」を支える, 生活の場での協働, 特集看護学からみた社会精神医学の可能性. 日本社会精神医学会雑誌 24(2):169-176, 2015.
2. 浅沼奈美: 「生活保護受給者の健康管理支援と保健師の役割」, 特集生活困窮者・生活保護受給者の健康支援. 保健師ジャーナル 72(2):94-99, 2016.
3. 佐藤美保, 横山祐樹¹, 北澤典子¹, 岡田昌也, 吉田信子¹, 田野将尊², 浅沼奈美 (¹杏林大学医学部付属病院精

神神経科病棟, ²東京医療保健大学): 精神看護学実習における実習指導者と教員の連携による実習指導ー患者・学生・指導者・教員の相互関係の分析からー. 杏林大学研究報告教養部門 33:9-19, 2016.

4. 佐藤美保, 田野将尊¹, 浅沼奈美 (¹東京医療保健大学): 行動制限の体験学習を通した学生の学びー制限を受ける患者への共感をめざしてー. 杏林大学研究報告教養部門 33:21-31, 2016.

その他

1. 江波戸和子: 学研メディカルサポート精神科コース「臨床で求められるこれからの精神看護」. オンライン継続教育, 2016年3月.

医療科学 I 研究室

講 演

1. 氣賀澤秀明, 岩楯桜子, 大谷正紀, 吉田昌記, 山田千歩, 高篠智, 高木徹也, 佐藤喜宣: C型慢性肝炎により糖尿病の急激な増悪を呈したと考えられる1剖検例. 第99次日本法医学会学術全国集会, 高知, 2015年6月10-12日.

その他

1. 岩楯桜子: 第1回アジアU-23女子バレーボール選手権大会引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, フィリピン, 2015年5月1-9日.
2. 岩楯桜子: 第2回世界U-23女子バレーボール選手権大会引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, トルコ, 2015年8月12-19日.

● 看護学科・看護養護教育学専攻 ●

上 谷 い つ 子

その他

1. 上谷いつ子: 「看護管理の概要」, 聖マリアンナ医科大学病院看護部 副看護部長研修会講師, 2015年5月16日・6月6日.
2. 上谷いつ子: 人材育成論「人材育成の方法」, 神奈川県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育課程講師, 2015年7月2日・9日.
3. 上谷いつ子: クリニカルラダーレベルⅠ-2研修「看護と介護のチーム作りー専門職としての私を表現しよう」, 鶴巻温泉病院2015年度看護部3年次職員フォローアップ研修 講師, 2015年8月22日.
4. 上谷いつ子: 看護サービス提供論「看護サービスの概要」, 新潟県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育課程 講師, 2015年9月15日・16日.
5. 上谷いつ子: 人的資源活用論「人材を活かすマネジメント」, 神奈川県看護協会認定看護管理者セカンドレベル教育課程 講師, 2015年11月13日・20日.

太 田 ひ ろ み

講 演

1. 石野晶子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 加藤英世: 幼児の重心動揺量の実態と, 足趾筋力との関連性. 第62回小児保健研究学会総会, 長崎, 2015年5月18-20日.
2. 太田真理子, 太田ひろみ: 地域在住高齢者の抑うつとの関連因子について 地域活動への参加と人とのつながりに焦点を当てて. 第25回日本精神保健看護学会学術集会, つくば, 2015年6月27-28日.
3. 大屋千鶴, 井手拓郎, 朝野聡, 亀崎路子, 山下真理子,

佐々木裕子, 楠田美奈, 太田ひろみ: 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.

4. 太田ひろみ: ふたごの子育て. 太田区役所多胎育児講演会, 東京, 2015年10月29日.

論文

1. 太田ひろみ, 朝野聡¹, 井手拓郎, 亀崎路子², 佐々木裕子², 楠田美奈², 太田真理子², 大屋千鶴² (¹杏林大・保・健康教育学, ²杏林大・保・看護養護教育課程): 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の効果. 杏林CCRC研究所紀要 2:162-165, 2016.
2. 地域交流委員会 (阿部和己¹, 石井博之¹, 太田ひろみ, 佐藤睦子¹, 三浦秀之², 八木橋宏勇³ (¹杏林大・保健学部, ²杏林大・総合政策学部, ³杏林大・外国語学部)): 杏林CCRC構想における地域活動. 杏林CCRC研究所紀要 2:130-140, 2016.

大瀧 純一

論文

1. 小林由佳¹, 高松由佳¹, 仲座春菜¹, 島田正亮², 岡田洋二³, 大瀧純一 (¹杏林大・保・分析化学Ⅰ, ²杏林大・医・総合医療学, ³杏林大・保・分析化学Ⅱ): ナノ秒時間分解レーザーフラッシュフォトリシス装置を用いた一重項酸素に対するカブサイシンの消去活性に関する研究. 杏林医会誌 46(4):255-261, 2015.

亀崎 路子

講演

1. 大屋千鶴, 井手拓郎, 朝野聡, 亀崎路子, 山下真理子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 太田ひろみ: 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.
2. 亀崎路子: 養護教諭の職務と役割. 足立区中学校教育研究会学校保健部研究発表会, 東京, 2016年2月3日.
3. 亀崎路子: 養護学の構築に向けての基礎的研究—養護教諭としてのライフを通じた養護の探求—. 第12回日本学校健康相談学会学術集会, 松戸, 2016年3月20日.

論文

1. 亀崎路子: 実践研究への導入—困りどころから見えてくるもの—. 学校健康相談研究 12(1):65-71, 2015.
2. 亀崎路子, 古谷明子¹, 出原嘉代子² (¹茨城県公立中学校, ²了徳寺大学): 気になる生徒とのかかわりの意味に関する実践研究—養護教諭が救急処置場面で遭遇した「大変だった」経験の省察—. 学校健康相談研究 12(1):72-83, 2015.
3. 亀崎路子, 島田正亮¹ (¹杏林大・医・総合医療学教室): 養護教諭とスクールカウンセラーの連携に関する文献検討—年代順による特徴—. 学校健康相談研究 12(2):132-144, 2016.

著書

1. 亀崎路子: 養護教諭と健康相談, 章末資料, 支援のための方法と協働, 慢性疾患のある子どもへの対応, 章末資料. 養護教諭の行う健康相談. 大谷尚子, 鈴木美智子, 森田光子編著. 東京, 東山書房, 2016. p.14-28, p.35-37, p.70-78, p.96-98, p.125.
2. 亀崎路子: 学校保健と組織活動. 改訂学校保健—ヘルスプロモーションの視点と教職員の役割の明確化. 徳山美智子, 中桐佐智子, 岡田加奈子編著. 京都, 東山書房, 2016. p.54-64.

その他

1. 亀崎路子, 田村千恵子, 富田瑞穂: ミニワークショップ報告 実践研究への導入—養護教諭の「困りどころ」から見えてくるもの—. 学校健康相談研究 12(1):99-103, 2015.
2. 亀崎路子, 河野千枝, 古谷明子, 山中寿江, 上原美子, 中川裕子, 大谷尚子: 養護学構築に向けての基礎的研究—養護教諭としてのライフを通じた養護の探求—, 学校健康相談研究 12(2):196-201, 2016.
3. 亀崎路子 (養護教諭の学校危機管理を学ぶ会): 【養護教諭なんでも相談室】戦前の学校看護婦のことを知りたい… 心とからだの健康, 19(7):66-68, 2015年7月1日発行.
4. 石井敦子, 亀崎路子 (養護教諭の学校危機管理を学ぶ会): 【養護教諭なんでも相談室】教職員向けのアレルギー研修について. 心とからだの健康, 19(12):70-72, 2015年12月1日発行.
5. 亀崎路子, 荻津真理子, 秋山緑: 特集 学校での救急処置について考える「救急処置の対応と養護教諭の役割」. 心とからだの健康, 19(9):21-22, 2015年9月1日発行.
6. 太田ひろみ, 朝野聡, 井手拓郎, 亀崎路子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 太田真理子, 大屋千鶴: 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の効果. 平成27年度杏林大学杏林CCRC研究所紀要, p.162-165, 2016.
7. 尾木直樹, 亀崎路子: 座談会 ゆれる思春期—どう受けとめる子どもの心, 婦人の友 109(11):66-81, 2015.
8. 亀崎路子監修: 月刊「教職課程」教員採用試験合格力育成ゼミ養護教諭. 2015年4月号 - 2016年3月号.
9. 亀崎路子: 聖徳学園中学・高等学校中学2年生対象「いじめ防止のための心の授業」について講評. 2016年3月14日.

兎澤 恵子

講演

1. 兎澤恵子: 平成27年度「私の案内書作り」講座. 杏林大学・三鷹ネットワーク大学共催連続市民講座, 三鷹, 2015年9月10・17・24日.
2. 兎澤恵子, 渡辺洋子, 古谷麻実子: 主体的な情報提供が高齢者の日常生活満足度に及ぼす諸要因に関する研究—施設入居者および地域在住高齢者による検討—. 三鷹ネットワーク大学推進機構, 平成27年度「民学産公」協働研究事業, 三鷹, 2016年3月4日.

佐々木 裕子

講演

1. 石野晶子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 加藤英世: 幼児の重心動揺量の実態と足趾筋力との関連性. 第62回小児保健研究学会総会, 長崎, 2015年5月18-20日.
2. 大屋千鶴, 井手拓郎, 朝野聡, 亀崎路子, 山下真理子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 太田ひろみ: 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.
3. 高橋眞理, 青柳優子, 大田康江, 藤本薫, 湯本敦子, 佐々木裕子, Jane RW Fisher, Heather J Rowe, 本田朋子: 産褥期ペアレンティング教育”What Were We Thinking!” 日本語版の作成と有用性の検討. 第12回医療看護研究会, 千葉, 2016年3月4日.

論文

1. 太田ひろみ, 朝野聡¹, 井手拓郎², 亀崎路子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 太田真理子, 大屋千鶴 (¹杏林大・保・健康教育学, ²杏林大・外・観光交流文化学): 大学生

と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の効果．杏林CCRC研究所紀要 2:162-165, 2015.

その他

1. 佐々木裕子：幼児と保護者を対象とした性教育．2015年度地域交流活動報告書，p.10, 2015.
2. 太田ひろみ，佐々木裕子，山内亮子，鈴木朋子：多胎育児支援活動．2015年度地（知）の拠点整備事業成果報告書，p.36, 2015.

角田 ますみ

講演

1. 角田ますみ：周手術期に問われるナースの倫理とは．第19回日本手術看護学会研修会，東京，2015年7月10日．
2. 角田ますみ：今，考えてほしい介護倫理の問題-介護現場における生命倫理とは-．第1回全国老人保健施設協会研修会，大阪，2015年7月25日．
3. 角田ますみ：高齢者ケアと生命倫理．第2回全国老人保健施設協会中堅者研修会，東京，2015年12月4日．
4. 角田ますみ：手術看護の生命倫理-周手術期における看護師の倫理的役割-．平成27年度群馬県看護協会手術看護研究会，前橋，2015年12月19日．

論文

1. 角田ますみ：日本におけるアドバンスケアプランニングの現状-文献検討と内容分析から-．生命倫理25(1):57-68, 2015.

著書

1. 角田ますみ，鈴木眞一：遺伝子医学MOOK別冊 最新遺伝医学研究と遺伝カウンセリング-がん遺伝カウンセリングの実際-．東京，メディカルドゥ，2015.
2. 角田ますみ，宮崎伸一：クエスチョンバンク・看護師国家試験問題解説2016．東京，メディックメディア，2015.
3. 金沢善智，角田ますみ：クエスチョンバンク・ケアマネ試験問題解説2016．東京，メディックメディア，2015.

佐藤 ユキ子

講演

1. 山本君子，井上善行，佐藤智子，戸塚智美，佐藤ユキ子，太田淳子：介護施設勤務の介護福祉士が捉える“その人らしさ”．第14回日本ケアマネジメント学会研究大会，横浜，2015年6月12-14日．

論文

1. 佐藤ユキ子，山本君子¹，天野雅美²（¹杏林大学保健学部，²東京医科大学）：救命蘇生現場への家族立ち合いの現状と看護師長の意識．看護教育研究学会誌7(1):15-25, 2015.
2. 武田弘太郎，山我美佳，佐藤ユキ子，山本君子：がん先端医療に対する他職種連携重点コース医学臨床実習報告．国際医療福祉大学学会誌 20(2):79-80, 2015.
3. 成田みゆき¹，佐藤ユキ子，関川久美子²，高城由紀³，中野八重美³（¹東京医科大学，²埼玉医科大学短期大学，³東京医科大学病院看護部）：夜間実習の教育効果-新人看護師の初夜勤務時の不安への影響-．東京医科大学看護専門学校紀要 25(1):107-112, 2016.

著書

1. 法橋尚宏，佐藤ユキ子他：ラ・スパ過去問対策第104回看護師国家試験問題解説書．東京，医学評論社，2015．第4巻p.126 - 128，第3巻p.96，第2巻p.31.
2. 石塚睦子，佐藤ユキ子他：プチナースmini BOOKS 実習記録用語BOOK．東京，照林社，2016．p.15-16.

その他

1. 佐藤ユキ子：平成27年度実習指導者研修「実習指導観」講師，東京都看護協会，2015年8月31日-9月9日．

佐野 恵美香

講演

1. 佐野恵美香，植木純：急性期と慢性期の連携をめぐって 連携ツールの開発とセルフマネジメント教育．第25回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，浦安，2015年10月15-16日．
2. 滝澤真季子，植木純，池田恵，佐野裕子，和田裕雄，熱田了，佐野恵美香，黒澤一：COPD患者を対象としたiPadによるセルフマネジメント教育プログラムの開発．第25回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，浦安，2015年10月15-16日．

山内 亮子

その他

1. 山内亮子：幼児期の発達とかかわり方のポイント．第11回ツイインズマーケット保育ボランティア学生対象オリエンテーション，三鷹，2016年3月5日．

山下 真理子

講演

1. 大屋千鶴，井手拓郎，亀崎路子，山下真理子，佐々木裕子，楠田美奈，太田ひろみ：大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇支援ネットワーク生成に関する研究．第74回日本公衆衛生学会総会 学術講演会，長崎，2015年11月4-6日．

論文

1. 山下真理子，田中伸一郎¹，大瀧純一²，古賀良彦¹（¹杏林大・医・精神神経科学，²杏林大・保・看護学科）：精神科外来を受診したうつ病患者の精神症状と性格傾向との関連-職場関連性に焦点をあてた介入方法の検討-．杏林医学会雑誌47(1):15-25, 2015.
2. 太田ひろみ¹，朝野聡¹，井手拓郎²，亀崎路子¹，佐々木裕子¹，楠田美奈¹，山下真理子，大屋千鶴¹（¹杏林大・保・看護学科，²杏林大・総合・観光学科）：大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の効果．杏林CCRC研究所紀要 2:162-165, 2015.

大屋 千鶴

講演

1. 大屋千鶴，井手拓郎，朝野聡，亀崎路子，山下真理子，佐々木裕子，楠田美奈，太田ひろみ：大学と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究．第74回日本公衆衛生学会総会，長崎，2015年11月5日．

楠田 美奈

講演

1. 楠田美奈：骨太教室【運動編】「みんなでコツ骨，運動のススメ」．羽村市骨粗鬆症検査 フォローアップ事業，羽村，2015年7月23日．
2. 照屋浩司，岡本博照，楠田美奈，松井知子，角田透：地域における運動相談事業への頻回の参加と高齢者の健康指標との関連について．第74回日本公衆衛生学会総会，長崎，2015年11月4-6日．
3. 大屋千鶴，井手拓郎，朝野聡，亀崎路子，山下真理子，佐々木裕子，楠田美奈，太田ひろみ：大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワー

ク生成に関する研究. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.

古谷 麻実子

講演

1. 古谷麻実子: 看護師長が体験したクリティカルケア領域の倫理的ジレンマへの対応. 第19回日本看護管理学会学術集会, 福島, 2015年8月28-29日.
2. 古谷麻実子: 看護師長が体験したクリティカルケア領域の倫理的ジレンマの様相. 第4回日本臨床倫理学会年次大会, 東京, 2016年3月5-6日.

● 臨床工学科 ●

岸野 智則

講演

1. 瀧澤華世, 加藤欣一, 宮崎京子, 米山正芳, 高城靖志, 大西宏明, 岸野智則, 渡邊卓: 高感度ワイドレンジ試薬「アラスタット3g Allergy」の基礎検討. 第64回日本医学検査学会, 福岡, 2015年5月16-17日.
2. 原島敬一郎, 青戸依子, 住吉彩, 石本翔, 司茂幸英, 岸野智則: 下肢のASI (arterial stiffness index) に関する検討. 第52回日本臨床生理学会総会, さいたま, 2015年10月31日-11月1日.
3. 大西宏明, 大塚弘毅, 松島早月, 野崎江里子, 米谷正太, 荒木光二, 高城靖志, 岸野智則, 渡邊卓: Mycobacterium kyorinenseの全ゲノム解析. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
4. 宮脇晴子, 岸野智則, 渡辺敬子, 大塚弘毅, 関口久美子, 高城靖志, 伊東大樹, 寺戸雄一, 原由紀子, 菅間博, 井本滋, 大西宏明, 渡邊卓: 肺癌乳腺転移の一例-その超音波画像所見の考察-. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
5. 鳥森直子, 岸野智則, 渡辺敬子, 森井健司, 藤原正親, 大塚弘毅, 関口久美子, 高城靖志, 菅間博, 大西宏明, 渡邊卓: 骨外性Ewing肉腫の一例-超音波画像所見の考察-. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
6. 藤野あえか, 岸野智則, 渡辺敬子, 有賀俊之, 大塚弘毅, 関口久美子, 高城靖志, 森秀明, 四倉正之, 大西宏明, 渡邊卓: 心エコーで評価した心膜外脂肪厚と心機能障害の関連性について. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
7. 宮沢絵梨奈, 佐藤英樹, 高城靖志, 関口久美子, 佐藤徹, 岸野智則, 大西宏明, 渡邊卓: 慢性血栓性肺高血圧に対する経皮的肺動脈バルーン拡張術の心電図変化について. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
8. 大塚弘毅, 大西宏明, 小倉航, 松島早月, 岸野智則, 藤原正親, 近藤晴彦, 渡邊卓: 混合型肺腺癌症例における分子異常のheterogeneityの検討. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
9. 青戸依子, 原島敬一郎, 住吉彩, 石本翔, 小林千夏, 村瀬かすみ, 津田智也, 司茂幸英, 岸野智則: 新たなソフトウェアで解析した arterial stiffness index (ASI) に関する検討~第二報 血圧およびPWVとの関係~. 第2回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2015年11月22日.

論文

1. Watanabe K¹, Kishino T, Sano J¹, Ariga T¹, Okuyama

S³, Mori H³, Matsushima S², Ohtsuka K^{1,2}, Ohnishi H^{1,2}, Watanabe T^{1,2} (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine, ³The Third Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine): Relationship between epicardial adipose tissue thickness and early impairment of left ventricular systolic function in patients with preserved ejection fraction. Heart Vessels. DOI 10.1007/s00380-015-0650-8. 2015. (in press).

特許知的財産関係, 報告書

1. 岸野智則: 生活習慣病の病勢や発症の危険性を超音波の新技術により画像的・定量的に評価する試み. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 (基盤研究 (C))) , 2015年度実績報告書.
2. 岸野智則: 生活習慣病の病勢や発症の危険性を超音波の新技術により画像的・定量的に評価する試み. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 (基盤研究 (C))) , 2012-2015年度研究成果報告書.

嶋津 秀昭

講演

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学シンポジウム 2015, 岡山, 2015年9月25-26日.
2. 渡辺篤志, 木暮英輝, 瀬野晋一郎, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: アリシンから生成される2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与. 第13回日本機能性食品医学学会総会, 福岡, 2015年12月12-13日.

論文

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学 53:303-310, 2015.

その他

1. 嶋津秀昭: 臨書現場での実践力をぐっとアップさせるシミュレーション教育の手法. Clinical Engineering Vol.27-2.107, 2016.

副島 昭典

講演

1. 副島昭典: 腎臓病でみられる検査の異常と診断. 市民公開講座, 慢性腎臓病セミナー, 三鷹, 2015年4月25日.
2. 山内大輔, 須田健二, 副島昭典: 電気的インピーダンスによる再循環率の計測に関する研究. 第23回東京都臨床工学会, 東京, 2015年6月15日.
3. 山内大輔, 宮内徹, 須田健二, 副島昭典: 血液透析における抜針検知システムの開発 (第4報). 第69回三多摩腎疾患治療医会, 三鷹, 2015年6月14日.
4. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 血液透析における実血流量測定法に関する実験的研究 (第2報). 第60回日本透析医学会, 横浜, 2015年6月27日.
5. 山内大輔, 須田健二, 副島昭典: 抜針検知システムの開発に関する基礎的研究 (第2報). 第60回日本透析医学会, 横浜, 2015年6月28日.
6. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 圧電素子を用いた血流量測定装置の開発と既存の流量計との比較検討. 第10回日本クリアランスギャップ研究会, 横浜, 2015年

8月29日。

論文

1. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 血漿アルブミンの還元化率を改善する還元薬剤の透析液への添加とその有効濃度. 腎とフリーラジカル 12:66-70, 2015.
2. 須田健二: 電氣的インピーダンスの変化を用いた抜針検知システムの開発. 透析会誌 48:391-392, 2015.

著書

1. 副島昭典: 内分泌・代謝系／腎臓・泌尿器・生殖器系／血液系／臨床生化学. 臨床工学技士ポケット・レビュー帳. 福長一義編. 東京, メジカルビュー社, 2015. p. 307-309／p. 317-324／p. 330-332.
2. 副島昭典: 基礎から始める腎臓内科学. 東京医学社, 東京, 2015.
3. 副島昭典: こあかり! 5リ・コ 2016最新問題編. 医学評論社, 東京, 2015.
4. 副島昭典: 医師国家試験問題解説書109, 医学評論社, 東京, 2015.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 石田陽一, 副島昭典, 川端雅彦, 供田文宏, 金木潤: カドミウムによる近位尿細管機能異常に関する研究. 平成26年度イタイイタイ病および慢性カドミウム中毒に関する総合的研究. 平成26年度環境省委託業務報告書, p. 169-184, 2015.

四倉 正之

講演

1. 吉野秀朗, 佐藤徹, 四倉正之, 坂田好美, 副島京子: 日常臨床における循環器Q&A. 第29回府中市医師会循環器勉強会, 府中, 2015年7月13日.
2. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2015年10月1日.
3. 吉野秀朗, 佐藤徹, 四倉正之, 坂田好美, 佐藤俊明: 日常臨床における循環器Q&A. 第30回府中市医師会循環器勉強会, 府中, 2015年12月7日.
4. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2015年11月27日.
5. 藤野あえか, 岸野智則, 渡辺敬子, 有賀俊之, 大塚弘毅, 関口久美子, 高城靖志, 森秀明, 四倉正之, 大西宏明, 渡邊卓: 心エコーで評価した心膜外脂肪厚と心機能障害の関連性について. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19-22日.
6. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 2016年1月22日.
7. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 2016年2月26日.
8. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 2016年3月26日.

小林 博子

講演

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学シンポジウム2015, 岡山, 2015年9月25-26日.

論文

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学 53:303-310, 2015.

中島 章夫

講演

1. 中島章夫: 臨床工学技士を目指す学生とのコミュニケーション術. 第25回日本臨床工学会, 福岡, 2015年5月23日.
2. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 櫛引俊宏, 中野壮階: 医療機器保守点検の日常点検チェック表作成に関する研究. 第90回日本医療機器学会大会, 東京, 2015年5月29日.
3. 中島章夫, 鈴木哲治: 汎用データベースシステムによる学内実習機器管理システムの構築と運用. 第90回日本医療機器学会大会, 東京, 2015年5月30日.
4. 中島章夫: 光とレーザーの基礎・医用レーザーの基礎. 第30回日本レーザー医学会安全教育講習会, 東京, 2015年6月14日.
5. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第37回ME技術講習会, 札幌, 2015年6月29日.
6. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第37回ME技術講習会, 東京, 2015年7月11日.
7. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第37回ME技術講習会, 東京, 2015年7月26日.
8. 中島章夫: 治療機器の原理・取り扱い上の注意と保守点検. 第8回MDIC認定セミナー, 東京, 2015年10月10日.
9. 中島章夫: コンピュータ・情報セキュリティの基礎. 第8回MDIC認定セミナー, 東京, 2015年10月11日.
10. 中島章夫: 医用レーザー機器の安全. 第30回レーザー安全スクール, 東京, 2015年10月18日.
11. 中島章夫: 電気メス 基礎と原理. 第51回手術用メス安全セミナー, 金沢, 2015年10月31日.
12. 鈴木哲治, 福長一義, 中島章夫: “考える”と“伝える”ことを学ぶ実習への取り組み. 第1回日本臨床工学技士教育施設協議会養成教員研修会, 東京, 2015年10月31日.
13. 中島章夫: 臨床工学技士教育20年から得られたこと・今後20年の臨床工学技士教育に必要なこと. 日本赤十字社臨床工学会第6回東部ブロック研修会, 東京, 2015年11月21日.
14. 中島章夫, 萬知子: 手術室内電気メス放射電磁波のリアルタイム音響解析システムの開発. 第44回杏林医学会総会, 東京, 2015年11月21日.

論文

1. 中島章夫: 臨床工学技士に求められるコミュニケーションスキル特集のねらい. Clinical Engineering 26(7):663, 2015.

著書

1. 中島章夫: 医療機器に関する関係法規. 臨床工学講座 医用機器安全管理学「第2版」. 篠原一彦, 出淵靖志編著. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 189-206.
2. 中島章夫: 医療法／医療関連判例. 臨床工学講座関係法規. 中島章夫編著. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 19-30／p. 87-98.
3. 中島章夫: 電気とは／電流と電圧の関係／直流回路. 臨床工学講座 医用電気工学1第「第2版」. 中島章夫編著. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 1-62.
4. 中島章夫: キャパシタ(コンデンサ)／コンデンサの種類と構造. 臨床工学講座 医用電気工学2「第2版」. 中島章夫編著. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 71-96／p. 191-195.
5. 中島章夫: 半導体とは／オペアンプ／電子回路部品・半

導体センサ／通信. 臨床工学講座医用電子工学「第2版」.
中島章夫編著. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 1-12 / p. 93-126 / p. 127-136 / p. 201-234.

6. 中島章夫: 電気メスの新潮流～最新電気メスの特徴とトレンドデータ内蔵電気メスの利用方法～. まるごとナットク! 電気メス安全ハンドブック. 小野哲章編著. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2015. p. 199-204.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 中島章夫, 高倉照彦, 山田紀昭, 新秀直, 中野壮階, 櫛引俊宏: 輸液ポンプの保守点検に関する教育用ウェブサイトの解説, 医療機器保守点検ガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療器基盤開発推進研究事業) 分担研究報告書, p. 5-32.
2. 中島章夫, 高倉照彦, 山田紀昭, 新秀直: 輸液ポンプの保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究結果, 医療機器保守点検ガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療器基盤開発推進研究事業) 分担研究報告書, p. 50-58.
3. 須田健二, 中島章夫, 中村淳史, 新秀直: 透析用監視装置の保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究結果, 医療機器保守点検ガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療器基盤開発推進研究事業) 分担研究報告書, p. 59-69.
4. 中村淳史, 中島章夫, 須田健二, 新秀直: 人工心肺装置の保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究結果, 医療機器保守点検ガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療器基盤開発推進研究事業) 分担研究報告書, p. 70-93.

その他

研究指導

1. 宮川大延: シリアル通信(RS232C)を用いた人工呼吸器稼働データモニタリングシステムの開発, Clinical Engineering: 中島章夫編, 東京, 学研メディカル秀潤社, Vol. 26(No. 7), p. 706-707.

教育実践に関する発表

1. 中島章夫: CEカリキュラムにおける医療機器管理の現状, 第30回日本臨床工学技士教育施設協議会教員研修会Ⅱ, 京都, 2015年6月7日.

学会等活動

1. 中島章夫: 一般社団法人日本生体医工学会代議員, 2015年5月8日-2017年社員総会.
2. 中島章夫: 公益財団法人医療機器センター臨床工学技士試験委員, 2015年7月1日-2017年6月30日.
3. 中島章夫: 公益社団法人日本臨床工学技士会教育研究会実行委員会委員, 2015年7月25日-2017年総会.
4. 中島章夫: 一般社団法人日本医療機器学会代議員, 2015年10月1日-2017年9月30日.

福長 一義

論文

1. Sawa Y¹, Matsuda K², Tatsumi E³, Matsumiya G⁴, Tsukiya T³, Abe T⁵, Fukunaga K, Kishida A⁶, Kokubo K⁷, Masuzawa T⁸, Myoui A⁹, Nishimura M¹⁰, Nishimura T¹¹, Nishinaka T¹², Okamoto E¹³, Tokunaga S¹⁴, Tomo T¹⁵, Yagi Y¹⁶, Yamaoka T³ (¹Osaka University Graduate School of Medicine, ²University of Yamanashi Hospital, ³National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, ⁴Chiba University Graduate School of

Medicine, ⁵Iwate Medical University School of Medicine, ⁶Tokyo Medical and Dental University, ⁷Kitasato University School of Allied Health Science, ⁸Ibaraki University, ⁹Osaka University Hospital, ¹⁰Tottori University, ¹¹The University of Tokyo, ¹²Tokyo Women's Medical University, ¹³Tokai University, ¹⁴Kanagawa Cardiovascular and Respiratory Center, ¹⁵Oita University, ¹⁶Kyoto Prefectural University of Medicine): Journal of Artificial Organs 2015: the year in review. J Artif Organs 19:1-7, 2016.

2. 朝野聡¹, 堀川浩之², 福長一義, 大貫雅也³, 小林杏奈⁴, 小林千史⁴, 田島治¹(¹杏林大・保・健康福祉学科, ²昭和大, ³杏林大・保・臨床工学科, ⁴杏林大学大学院): 芝生と土グラウンドの環境の違いが生理学的応答に及ぼす影響. 芝草研究 44:142-147, 2016.

須田 健二

講演

1. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 櫛引俊宏: 医療機器保守点検の日常点検チェック表作成に関する研究. 第90回日本医療機器学会大会, 横浜, 2015年5月29日.
2. 高倉照彦, 石原美弥, 加納隆, 中島章夫, 中野壮階, 須田健二, 中村淳史, 櫛引俊宏, 山田紀昭, 新秀直: 輸液ポンプ保守点検用教育とガイドライン策定. 第90回日本医療機器学会大会, 横浜, 2015年5月29日.
3. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 血液透析における実血流量測定法に関する実験的研究(第2報). 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜, 2015年6月27日.
4. 山内大輔, 宮内哲, 須田健二, 副島昭典: 血液透析における抜針検知システムの開発(第4報). 三多摩腎疾患治療医会第69回研究会, 東京, 2015年6月14日.
5. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 圧電素子を用いた実血流量測定装置(Q_Bモニタ)の開発と既存の流量計との比較検討. 第10回日本クリアランスギャップ研究会学術集会, 横浜, 2015年8月29日.
6. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 卒後10年間の教育を考える 臨床経験をベースとしたスキルアップとしての大学院へ. 第6回関東臨床工学会, 東京, 2015年9月13日.

論文

1. 須田健二: 電気的インピーダンスの変化を用いた抜針検知システムの開発. 日本透析医学会雑誌 48(6):391-392, 2015.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 須田健二, 中島章夫, 中村淳史, 新秀直: 透析用監視装置の保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究結果, 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業), 医療機器の保守管理の適正実施にむけた調査研究. 平成26年度総合研究報告書, 59-69, 2016.
2. 須田健二: 透析用監視装置の安全使用に関するガイドライン(案), 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業), 医療機器の保守管理の適正実施にむけた調査研究. 平成26年度総合研究報告書: 203-221, 2016.

その他

1. 須田健二: Best Presentation Award 受賞. 圧電素子を用いた実血流量測定装置(Q_Bモニタ)の開発と既存の流量計との比較検討. 第10回日本クリアランスギャップ研究会学術集会, 横浜, 2015年8月29日.

瀬野 晋一郎

講演

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学シンポジウム2015, 岡山, 2015年9月25-26日.
2. 渡辺篤志, 木暮英輝, 瀬野晋一郎, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: アリシンから生成される2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与. 第13回日本機能性食品医学会総会, 福岡, 2015年12月12-13日.

論文

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学 53:303-310, 2015.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 瀬野晋一郎: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発. 科学研究費助成事業(若手研究(B))2015年度 研究実施状況報告書.

原島 敬一郎

講演

1. 河野知典, 三輪隆, 佐野晃士, 藤原真梨子, 奥村貴子, 伊藤真理子, 大澤舞, 久米雅彦, 原島敬一郎, 林潤一, 秋本孝之, 伊藤禄郎, 添田仁, 金澤真雄, 小田原雅人: 血糖コントロールが不十分なインスリン使用患者へのリキシセナチド追加効果の検討. 第58回日本糖尿病学会学術集会, 山口, 2015年5月20-24日.
2. 原島敬一郎, 青戸依子, 住吉彩, 石本翔, 司茂幸英, 岸野智則: 下肢のASI(arterial stiffness index)に関する検討. 第52回日本臨床生理学会総会, さいたま, 2015年10月31日-11月1日.
3. 青戸依子, 原島敬一郎, 住吉彩, 石本翔, 小林千夏, 村瀬かすみ, 済田智也, 司茂幸英, 岸野智則: 新たなソフトウェアで解析した arterial stiffness index (ASI)に関する検討〜第二報 血圧およびPWVとの関係〜. 第2回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2015年11月22日.

渡辺 篤志

講演

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学シンポジウム2015, 岡山, 2015年9月25-26日.
2. 渡辺篤志, 木暮英輝, 瀬野晋一郎, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: アリシンから生成される2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与. 第13回日本機能性食品医学会総会, 福岡, 2015年12月12-13日.

論文

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学 53:303-310, 2015.
2. 渡辺篤志: 人工心臓を用いた循環シミュレータ. Clinical Engineering 27-2:154-156, 2016.

鈴木 哲治

講演

1. 中島章夫, 鈴木哲治: 汎用データベースシステムによる学内実習機器管理システムの構築と運用. 第90回日本医療機器学会大会, 東京, 2015年5月30日.
2. 鈴木哲治, 福長一義, 中島章夫: 教育現場における臨床工学技士から見る教育. 第6回関東臨床工学会, 東京, 2015年9月13日.
3. 鈴木哲治, 福長一義, 中島章夫: “考える”と“伝える”ことを学ぶ学習への取り組み. 第1回臨床工学技士養成教員研修会, 東京, 2015年10月31日.

中村 淳史

講演

1. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 櫛引俊宏: 医療機器保守点検の日常点検チェック表作成に関する研究. 第90回日本医療機器学会大会, 横浜, 2015年5月29日.
2. 高倉照彦, 石原美弥, 加納隆, 中島章夫, 中野壮隆, 須田健二, 中村淳史, 櫛引俊宏, 山田紀昭, 新秀直: 輸液ポンプ保守点検用教育とガイドライン策定. 横浜, 2015年5月29日.
3. 中村淳史: 日本体外循環技術医学会欧州インターンシップ参加報告. 第41回日本体外循環技術医学会, 神戸, 2015年10月17-18日.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 須田健二, 中島章夫, 中村淳史, 新秀直: 透析用監視装置の保守点検策定に向けた調査研究結果, 医療機器保守点検のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究 (H26-医療-指定-032), 厚生労働科学研究補助金(地域医療基盤開発推進事業) 平成26年度 総括研究報告書, 59-70, 2016.
2. 中村淳史, 中島章夫, 須田健二, 新秀直: 人工心肺装置の保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究結果, 医療機器保守点検のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究 (H26-医療-指定-032), 厚生労働科学研究補助金(地域医療基盤開発推進事業) 平成26年度 総括研究報告書, 71-94, 2016.
3. 中村淳史: 人工心肺装置の安全使用に関するガイドライン(案)の作成, 医療機器保守点検のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究 (H26-医療-指定-032), 厚生労働科学研究補助金(地域医療基盤開発推進事業) 平成26年度 総括研究報告書, 223-248, 2016.

大貫 雅也

論文

1. 朝野聡¹, 堀川浩之², 福長一義³, 大貫雅也, 小林杏奈⁴, 小林千史⁴, 田島治¹(¹杏林大・保・健康福祉学科, ²昭和大, ³杏林大・保・臨床工学科, ⁴杏林大学大学院): 芝生と土グラウンドの環境の違いが生理学的応答に及ぼす影響. 芝草研究 44:142-147, 2016.

木暮 英輝

講演

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学シンポジウム2015, 岡山, 2015年9月25-26日.
2. 渡辺篤志, 木暮英輝, 瀬野晋一郎, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: アリシンから生成される2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与. 第13回日本機能性食品医学会総会, 福岡, 2015年12月12-13日.

論文

1. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発および評価. 生体医工学 53:303-310, 2015.

● 理学療法学科 ●

齋藤 昭彦

著書

1. 齋藤昭彦: 運動・からだ図解 骨・関節・靱帯・神経・血管の触診術の基本. 東京, マイナビ出版, 2015.
2. 齋藤昭彦: ビジュアルで学ぶ 筋膜リリーステクニック Vol.1 - 肩, 骨盤, 下肢・足部. 齋藤昭彦監訳. 東京, 医道の日本社, 2015.
3. 齋藤昭彦: 頸部・背部のマニピュレーション-最小の力で効果を発揮する!(DVD). 齋藤昭彦監訳. 東京, 医道の日本社, 2015.
4. 齋藤昭彦: 神経系モビライゼーション〜痛み・しびれ・可動域障害を治療する! 病態に応じた積極的なアプローチ〜 (DVD-全4枚セット), 東京, ジャパンライム, 2015.

芝原 美由紀

講演

1. 中村和由, 青木駿, 青山智美, 丸山恵実, 芝原美由紀, 中野尚子: 疑似高齢者の乗車動作の検討. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月6日.
2. 芝原美由紀: 学齢児に対する車いすバスケットの取り組み. 第62回日本小児保健学会, 長崎, 2015年6月19日.
3. 芝原美由紀: 新しい生涯スポーツとしてボッチャの理解と普及促進へ向けて. 杏林大学CCRC連続講座, 三鷹, 2015年10月3日.
4. 芝原美由紀: 肢体不自由児の身体活動と日常スポーツ状況の検討. 第19回日本アダプテッド体育スポーツ学会, 厚木, 2015年11月29日.

論文

1. 芝原美由紀: 学齢児のアダプテッド・スポーツへの取り組み, 車いすバスケッ種目. リハビリテーションスポーツ 34(1):15-17, 2015.
2. 芝原美由紀: 学齢児に対する車椅子バスケットの取り組み. 小児保健研究 74:162, 2015.

その他

1. 芝原美由紀: 杏林大学COC事業 大学生向けの講演会の企画実施, 奥田邦晴(大阪府立大): 大学生だからできる障がい者スポーツ活動の実践, 八王子キャンパス, 2015年9月26日.
2. 芝原美由紀: 「パラリンピック種目, ボッチャ体験教室」, 横須賀市, 生涯現役フォーラム2015にて, 神奈川県立保健福祉大学体育館, 2015年11月28日.

中野 尚子

講演

1. 中村和由, 青木駿, 青山智美, 丸山恵実, 芝原美由紀, 中野尚子: 疑似高齢者の乗車動作の検討. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月5-7日.
2. 儀間裕貴, 渡辺はま, 木原秀樹, 中野尚子, 中野純司, 中村友彦, 小西行郎, 多賀厳太郎: 乳児期初期の自発運動特性と6歳時発達の関連. 日本赤ちゃん学会第15回

学術大会, 高松, 2015年6月27-28日.

3. 儀間裕貴, 木原秀樹, 中野尚子, 渡辺はま, 中村友彦, 多賀厳太郎: 超・極低出生体重児に対する哺乳評価と修正6ヶ月時発達の関連. 第4回日本小児診療多職種研究会, 北九州, 2015年7月19-20日.
4. 中野尚子, 北原エリ子: ボバースアプローチの有効性の検討. 日本ボバース研究会ABPIA研究会, 東京, 2015年7月26日.
5. 儀間裕貴, 渡辺はま, 木原秀樹, 中野尚子, 中村友彦, 多賀厳太郎: 自閉症スペクトラム児における乳児期初期の頸部回旋運動. 発達神経科学学会第4回大会, 大阪, 2015年9月6-7日.
6. 中野尚子: 新生児の評価general movements(GMs). 理学療法士講習会 NICUにおける理学療法, 安曇野, 2015年9月26-27日.
7. 中野尚子: fidgety期GMsの特徴について. GMs研究会, 東京, 2015年10月10日.
8. 中野尚子: 脳性麻痺の理学療法. 上尾すてっぷの会, 上尾, 2015年11月21日.
9. 中野尚子: general movements(GMs)の発達変化について. GMs研究会, 東京, 2015年12月26日.
10. 中野尚子: 小児理学療法について. 国立障害者リハビリテーションセンター, 所沢, 2016年1月22日.

著書

1. 中野尚子: General movements(GMs)の評価. 小児リハビリテーション評価マニュアル. 高橋秀寿監修. 東京, 診断と治療社, 2015. p.34-37.
2. 中野尚子: Dubowitz (デュボヴィッツ) の神経学的評価. 小児リハビリテーション評価マニュアル. 高橋秀寿監修. 東京, 診断と治療社, 2015. p.37-41.
3. 中野尚子: ブラゼルトンの新生児行動評価(NBAS). 小児リハビリテーション評価マニュアル. 高橋秀寿監修. 東京, 診断と治療社, 2015. p.42-44.
4. 中野尚子: 新生児個別の発達ケアと評価プログラム(NIDCAP). 小児リハビリテーション評価マニュアル. 高橋秀寿監修. 東京, 診断と治療社, 2015. p.45-47.
5. 中野尚子: 頭部の挙上. 親と専門家のための脳性まひ児の運動スキルガイドブック. 山川友康, 上杉雅之監訳. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.59-68.
6. 中野尚子: 起き上がることと四つ這い移動すること. 親と専門家のための脳性まひ児の運動スキルガイドブック. 山川友康, 上杉雅之監訳. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.122-134.

その他

1. 中野尚子: 行動発達研究会第12回研修会主催, 東京, 2016年1月9日.

八並 光信

講演

1. 一場友実, 解良武士, 石川朗, 八並光信: 健康成人に対するストレッチボールを用いたエクササイズによる胸部可動性及びリラクゼーション効果の検討. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月5-7日.
2. 齋藤利恵, 八並光信, 丹羽正利: 臨床実習中における学生のストレス反応および睡眠状況について-3次元加速度センサーを用いて-. 第49回日本作業療法学会, 神戸, 2015年6月20日.
3. 齋藤利恵, 八並光信: 臨床実習中に過度の不安を抱えた学生の心理的適応について. 第12回東京都作業療法学会, 東京, 2015年11月8日.

論文

1. 三宅英司¹, 渡邊要一¹, 八並光信⁽¹⁾永生会): 地域包括ケアシステムの理解に及ぼす要因の検討と法人内連携について. 自立支援介護学 9(1):28-32, 2015.

石井 博之

講演

講習会講師

1. 石井博之: ロコモティブシンドロームと多様な歩行の紹介. はむら健康の日 健康講座, 羽村, 2015年5月17日.
2. 石井博之: 国際社会と理学療法. 理学療法士協会東京都士会新人教育プログラム, 東京, 2015年9月5日.
3. 石井博之: 地域貢献実施状況について. 羽村コモンズ, 羽村, 2015年9月12日.
4. 石井博之: 歩こう会 ポールウォーキングやノルディックウォーキングの効果と注意点. 市民セミナー, 羽村, 2015年11月14日.
5. 石井博之: 運動はいつから始めても大丈夫～加齢による骨や筋肉の変化を知って, 安全で効果的な運動を～. 羽村市健康フォーラム, 羽村, 2016年1月31日.
6. 石井博之: 地域貢献実施状況について. 羽村コモンズ, 羽村, 2016年2月13日.

論文

1. 太田ひろみ, 石井博之, 八木橋宏勇: 杏林CCRC構想における地域活動. 杏林CCRC研究所紀要 2:130-140, 2016.
2. 石井博之, 進邦徹夫, 富田泰彦, 古本泰之: 杏林CCRC構想における教育活動「地域と大学の在り方」. 杏林CCRC研究所紀要 2:141-150, 2016.

著書

1. 石井博之: 途上国におけるPTの現状. 国際リハビリテーション学. 河野眞編. 東京, 羊土社, 2016. p. 42-25.
2. 石井博之: 関連する国際組織. 国際リハビリテーション学. 河野眞編. 東京, 羊土社, 2016. p. 144-148.

その他

1. 石井博之: 地域交流推進室副室長.
2. 石井博之: JOCV (青年海外協力隊) リハビリテーションネットワーク理事.
3. 石井博之: 三鷹市スポーツ推進審議会副会長.
4. 石井博之: 羽村市ボタリングクラブ顧問.
5. 石井博之: 知(地)の拠点事業における「健康寿命延伸のためのスポーツ機会提供プログラム」, 月2回程度羽村市市民対象に実施中.

榎本 雪絵

講演

学会発表

1. 榎本雪絵, 中村真理, 新井尚子, 萩原直美: 自主運営化した健康教室のその後音実施状況と参加者状況. リハビリテーション・ケア合同研究大会神戸2015, 神戸, 2015年10月1-3日.
2. Enomoto Y: The Roles and Activities of Physical Therapist in the Area. The 16th Annual Congress of KSPTA, Korea, October 18th, 2015.

講演・一般向け公開講座

1. 榎本雪絵: 高齢者が健やかな生活を続けるために. 老友クラブ連合会, 八王子, 2015年4月25日.
2. 榎本雪絵: 高齢者が効果的に運動を行うために. 老友クラブ連合会, 八王子, 2015年5月23日.

3. 榎本雪絵: 高齢者が健やかな生活を続けるために. 老友クラブ連合会, 八王子, 2015年6月20日.
4. 榎本雪絵: 運動の実践と効果. 老友クラブ連合会, 八王子, 2015年6月27日.
5. 榎本雪絵: 高齢者のための運動のポイント～高齢者における運動の重要性とその効果. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 2015年7月1日.
6. 榎本雪絵: 高齢者のための運動のポイント～高齢者における運動の注意点. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 2015年7月8日.
7. 榎本雪絵: 高齢者のための運動のポイント～運動プログラムと実践. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 2015年7月15日.
8. 榎本雪絵: 生活期におけるリハビリテーション～実際の症例から実践方法を学ぶ. かながわ福祉サービス振興会, 横浜, 2015年8月19日.
9. 榎本雪絵: 高齢者におけるストレッチの重要性. 老友クラブ連合会, 八王子, 2015年9月26日.
10. 榎本雪絵: 運動の実践と効果. 老友クラブ連合会, 八王子, 2015年11月21日.
11. 榎本雪絵: 高齢者が健やかな生活を続けるために. 鶴見健康サロン, 横浜, 2015年12月15日.
12. 榎本雪絵: 運動プログラムについて. 老友クラブ連合会, 八王子, 2016年1月9日.
13. 榎本雪絵: 運動を継続する重要性について. 老友クラブ連合会, 八王子, 2016年1月23日.
14. 榎本雪絵: 自宅でもできる運動プログラム. 鶴見健康サロン, 横浜, 2016年3月26日.

その他

1. 榎本雪絵: 第6回西多摩・南多摩ブロック学術集会企画・開催. 多摩, 2015年10月25日.
2. 榎本雪絵: 南多摩医療と介護と地域をつなぐ会第10回フォーラム企画・開催. 八王子, 2016年3月22日.

一場 友実

講演

1. 一場友実, 解良武士, 石川朗, 八並光信: 健康成人に対するストレッチボールを用いたエクササイズによる胸郭可動性及びリラクゼーション効果の検討. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月5-7日.
2. 小名木良太, 一場友実, 八並光信 他: 呼吸法の違いがトレッドミル歩行時の呼吸循環応答と主観的疲労感に与える影響. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月5-7日.
3. 一場友実: 介護予防とリハビリテーション-呼吸法も取り入れた運動療法の実践-. 八王子学園都市大学・いちょう塾/杏林大学講演会, 八王子, 2015年6月10日.
4. 宮川哲夫, 一場友実: 体位排痰法. 埼玉県看護協会継続教育研修会, さいたま, 2015年6月16日, 7月14日.
5. 宮川哲夫, 一場友実: 呼吸ケアセミナー, 東機貿, 東京, 2015年9月5日.
6. Ichiba T, Miyagawa T: The combined effects of manual chest squeezing coordinated expiration during exercise in patients with chronic obstructive pulmonary disease. 25th European Respiratory Society Annual Congress, Netherlands, September 26th-30th, 2015.
7. Miyagawa T, Ichiba T: Efficacy of cough with mechanical in-exsufflation(MI-E) and high frequency chest wall oscillation (HFCWO) for airway clearance. 25th European Respiratory

Society Annual Congress, Netherlands, September 26th-30th, 2015.

8. 一場友実:出張大学講義-呼吸リハビリテーション-, 長野, 2015年10月29日.

その他

1. 一場友実:第11回関東ボッチャ選手権大会, 公認上級審判員, 埼玉, 2015年1月25日.
2. 一場友実:第16回日本ボッチャ選手権大会本大会, 公認上級審判員, 千葉, 2015年2月20-22日.
3. 一場友実:第16回東京都障害者スポーツ大会, 公認上級審判員, 東京, 2015年7月25日.
4. 芝原美由紀, 一場友実:杏林大学COC事業 大学生向けの講演会の企画実施 奥田邦晴:大学生だからできる障がい者スポーツ活動の実践, 八王子, 2015年9月26日.
5. 一場友実, 芝原美由紀:杏林大学COC事業 パラリンピック選手との交流会-ボッチャ- 廣瀬隆喜他6名, 三鷹, 2015年10月31日. 11月7日.
6. 一場友実, 杏林大学:パラリンピック種目「ボッチャ」日本代表が伝授, 朝日新聞, 2015年11月1日.
7. 一場友実, 杏林大学, ボッチャ同好会:パラリンピック公式種目「ボッチャ」杏林大で講習会・体験会. 毎日新聞, 2015年11月20日.
8. 芝原美由紀, 一場友実:パラリンピック種目 ボッチャ体験教室 横須賀市 生涯現役フォーラム2015, 神奈川県立保健福祉大学体育館, 2015年11月28日.
9. 一場友実:第17回日本ボッチャ選手権大会本大会, 公認上級審判員, 兵庫, 2015年12月25-27日.
10. 一場友実, 杏林大学, ボッチャ同好会:ぶらりキャンパス ボッチャ同好会 パラ五輪へ選手のケアも, 東京新聞, 2016年2月1日.
11. 一場友実:第11回多摩ボッチャ大会, 公認上級審判員, 東京, 2016年2月7日.

倉林 準

講演

1. 河原常朗, 土居健次郎, 大森茂樹, 倉林準:ワイドベース歩行の三次元的解析. 第50回理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5日.
2. 倉林準, 菅野恭平, 和田雄太郎, 門馬博, 鈴木希望, 桐ヶ谷駿一郎, 八並光信:大腿周径・身体組成を用いた膝関節筋力推定方法の開発. 第19回日本福祉工学会学術講演会, 甲府, 2015年11月28日.

論文

1. Miyake E¹, Yatsunami M, Kurabayashi J, Teruya K, Sekine Y², Endo T², Nishida R³, Takano N⁴, Sato S⁵, Han JK⁶ (¹Graduate School of Health Sciences, Kyorin University, ²Medical Corporation Jinseikai, ³Tokyo Shinjuku Medical Center, ⁴Saiseikai Utsunomiya Hospital, ⁵Gunma Children's Medical Center, ⁶Nihon University): A Prospective Epidemiological Study of Injuries in Japanese National Tournament-level Badminton Players from Junior High School to University. Asian Journal of Sports Medicine 7(1):e29637, 2016.
2. 倉林準, 井上美幸¹, 三宅英司², 内野翔太³, 西田隆一郎⁴ (¹千葉医療福祉専門学校, ²医療法人社団永生会, ³医療法人社団鎮誠会, ⁴独立行政法人地域医療機能推進機構東京新宿メディカルセンター):変形性膝関節症における矢状面上の歩行特性(Grade I). 臨床歩行分析研究会誌 2(2):1-8, 2015.
3. 倉林準:福祉工学とリハビリテーション-リハビリテーションの立場から-. 日本福祉工学会学会誌 17(2):

9, 2015

その他

1. 倉林準:トレーナー帯同 日本バドミントン協会:ジュニアナショナル(U16・U13)女子強化合宿, 2015年5月7-13日.
2. 倉林準:トレーナー帯同 日本バドミントン協会:ジュニアナショナル(U16・U13)男子強化合宿, 2015年6月16-22日.

橋立 博幸

講演 学会発表

1. Hashidate H, Sawada K, Ashikawa A, Chiba M, Shimizu N: Measuring daytime physical activity using triaxial accelerometer in community-dwelling older adults with difficulty to perform outdoor activities. World Confederation for Physical Therapy Congress 2015, Singapore, May 1st-4th, 2015.
2. Shimizu N, Hashidate H, Saitou A: Reliability of physical activity measured using a triaxial accelerometer and the relationship between daytime activity and therapy-time activity in stroke inpatients. World Confederation for Physical Therapy Congress 2015, Singapore, May 1st-4th, 2015.
3. 橋立博幸, 鈴木友紀, 柴田未里, 佐野寛太, 藤澤祐基:維持期脳卒中片麻痺者における杖操作の促進が歩行パフォーマンスに及ぼす影響. 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5-7日.
4. 橋立博幸, 鈴木友紀, 柴田未里, 佐野寛太, 藤澤祐基, 笹本憲男:維持期脳卒中片麻痺者に対する1か月間の杖操作促進課題を付加した歩行練習が歩行速度および歩数に及ぼす即時的効果の検討. 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5-7日.
5. 大沼剛, 橋立博幸, 阿部勉:訪問リハビリテーション利用者の屋内生活空間における身体活動および動作能力の経時変化. 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5-7日.
6. 藤澤祐基, 岡島康友, 山田深, 橋立博幸, 八並光信:脳卒中片麻痺患者の麻痺手書字における手の遠位・近位運動の分離性とパフォーマンスとの関係. 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5-7日.
7. 澤田圭祐, 橋立博幸, 芦川聡宏, 千葉美幸, 笹本憲男:屋外活動が困難な地域在住高齢者における床からの立ち上がり動作能力評価における測定の信頼性と物的介助の有無による測定結果の差異. 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5-7日.
8. 清水夏生, 橋立博幸, 齋藤昭彦:入院中の回復期脳卒中患者における3軸加速度計付活動量計で測定した日中の活動量と理学療法中の活動量の関係. 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015年6月5-7日.
9. 原田和宏, 橋立博幸, 赤澤直紀, 大川直美, 井上優:医学的リハビリテーションニーズの程度を把握する測定項目に関する基準関連的検討-発症直後の患者を対象とした試み-. 日本老年社会学会第57回大会, 横浜, 2015年6月12-14日.
10. 橋立博幸, 澤田圭祐, 芦川聡宏, 深澤雄希, 笹本憲男:地域在住のパーキンソン病者における社会参加活動の獲得が歩行能力および健康関連QOLに及ぼす効果の検討. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 昭和町, 2015年9月12-13日.
11. 澤田圭祐, 橋立博幸, 千葉美幸, 日向渉, 笹本憲男:重

度認知症を既往する下腿切断の高齢者とその家族介護者に対する訪問リハビリテーションの効果の検討. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 昭和町, 2015年9月12-13日.

12. 清水夏生, 橋立博幸: 回復期脳卒中入院患者の姿勢バランス障害の特性に合わせた姿勢バランストレーニングの効果の検討. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 昭和町, 2015年9月12-13日.
13. 佐野寛太, 橋立博幸, 鈴木友紀, 澤田圭祐, 笹本憲男: 屋外活動困難な地域在住高齢者に対する通所リハの利用と運動介入が屋外活動再獲得に及ぼす効果の検討. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 昭和町, 2015年9月12-13日.
14. 森田亮一, 橋立博幸, 深澤雄希, 長沼大, 笹本憲男: 地域在住の脳梗塞片麻痺者における通所介護での個別運動介入が洗体・更衣動作能力の改善に及ぼす効果の検討. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 昭和町, 2015年9月12-13日.
15. 千葉美幸, 澤田圭祐, 芦川聡宏, 橋立博幸: 意思疎通困難な多系統萎縮症者に対する視線入力型意志伝達装置を用いたコミュニケーションの有効性の検討. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 昭和町, 2015年9月12-13日.
16. Hashidate H, Harada K: Assessing needs for medical rehabilitation: Associations with ADLs in older individuals with or without dementia. American Congress of Rehabilitation Medicine 92th Annual Conference, USA, October 25th-30th, 2015.
17. Harada K, Hashidate H: Assessing needs for medical rehabilitation: Its use to identify in early stage after disease onset. American Congress of Rehabilitation Medicine 92th Annual Conference, USA, October 25th-30th, 2015.
18. 橋立博幸, 原田和宏, 山上徹也, 浅川康吉, 二瓶健司, 吉井智晴, 金谷さとみ: 通所サービスを利用する認知症高齢者における要介護度悪化に対する関連要因の検討. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.
19. 原田和宏, 橋立博幸: 医学的リハビリテーションニーズに関して病期および疾患別にみる特徴. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.
20. 橋立博幸, 内海智之, 増田和樹, 小山航, 井口拓也, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 異なる戦略による立位前方リーチ動作の運動学的特性の差異. 第2回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第20回学術大会合同学会, 横須賀, 2015年11月14-15日.
21. 内海智之, 橋立博幸, 増田和樹, 小山航, 井口拓也, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 二重課題の有無が立位前方リーチ動作の運動学的特性に及ぼす影響. 第2回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第20回学術大会合同学会, 横須賀, 2015年11月14-15日.
22. 増田和樹, 橋立博幸, 内海智之, 小山航, 井口拓也, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: OP条件の有無による座位リーチ動作の運動学的特性の検討. 第2回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第20回学術大会合同学会, 横須賀, 2015年11月14-15日.
23. 内藤真也, 橋立博幸, 加藤初音, 西野智之, 日比野江里子, 加藤絵理, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 異なる杖操作リズムが3動作杖歩行の歩行速度および歩行パターンに及ぼす影響. 第2回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第20回学術大会合同学会, 横須賀, 2015年11月14-15日.
24. 橋立博幸, 原田和宏, 佐藤けさ枝: 医学的リハビリテーション・ニーズの評価の検者間信頼性と基準関連妥

当性. 第2回日本予防理学療法学会学術集会, 札幌, 2015年12月19日.

25. 原田和宏, 橋立博幸, 赤澤直紀, 大川直美, 井上優: 発症後から9か月間の医学的リハビリテーション・ニーズの推移に関する検討と事例. 第2回日本予防理学療法学会, 札幌, 2015年12月19日.
26. 大沼剛, 橋立博幸, 阿部勉: 訪問リハビリテーション利用者の屋内生活空間における身体活動と自己効力感の関係. 第2回日本予防理学療法学会, 札幌, 2015年12月19日.
27. 甲田智洋, 澤田圭祐, 千葉美幸, 橋立博幸: 訪問リハビリテーションを利用する地域在住高齢者における転倒後の再転倒に影響を及ぼす要因の検討. 第19回山梨県理学療法士会学術集会, 南アルプス, 2016年1月17日.
28. 池内貴美, 山内愛, 橋立博幸: 回復期リハビリテーション病棟における人工膝関節全置換術後者の入院期間に対する身体能力簡易テストの関連. 回復期リハビリテーション病棟協会第27回研究大会, 宜野湾, 2016年3月4-5日.
29. 山内愛, 橋立博幸, 池内貴美: 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中者のFIM利得と入院日数および脳卒中発症から入院までの期間の関連. 回復期リハビリテーション病棟協会第27回研究大会, 宜野湾, 2016年3月4-5日.

講演

1. 橋立博幸: 高齢者が健やかに生活するための運動とリハビリテーション～介護の必要がない日常生活のために～. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2015年11月17・24日, 12月1・8・15日.

論文

1. 原田和宏¹, 井上優², 橋立博幸, 大川直美³, 赤澤直紀³ (¹吉備国際大, ²吉備国際大学保健福祉研究所, ³河内村病院): 脳卒中慢性期における医学的リハビリテーション目標の設定方法に関するレビュー. 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 16:21-26, 2015.
2. Yamagami T¹, Harada K², Hashidate H, Asakawa Y³, Nihei K⁴, Kaneya S⁵, Yoshii C⁶ (¹Takasaki University of Health and Welfare, ²Kibi International University, ³Tokyo Metropolitan University, ⁴Hoshi General Hospital, ⁵Kamma Memorial Hospital, ⁶University of Tokyo Health Science): Obtaining Information from Family Caregivers Is Important to Detect Behavioral and Psychological Symptoms and Caregiver Burden in Subjects with Mild Cognitive Impairment. Dement Geriatr Cogn Dis Extra 6(1):1-9, 2016.

著書

1. 橋立博幸: MCIの危険因子. 老年症候群. 基礎からわかる軽度認知障害(MCI)一効果的な認知症予防を目指して. 鈴木隆雄監, 島田裕之編. 東京, 医学書院, 2015. p.163-179.
2. 橋立博幸: 歩行障害. 実践的なQ&Aによるエビデンスに基づく理学療法 評価と治療指標を総まとめ. 内山靖編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.399-414.
3. 橋立博幸: 認知症の危険因子. 運動による脳の制御 認知症予防のための運動. 島田裕之編. 東京, 杏林書院, 2015. p.28-43.
4. 橋立博幸: フレイルとロコモティブシンドローム. フレイルの予防とリハビリテーション. 島田裕之編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.172-177.

村上 幸士

講演

1. 村上幸士：安静時と収縮時における多裂筋筋硬度の比較～超音波診断装置 Real-time Tissue Elastography を用いて～. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月5-7日.
2. 村上幸士：超音波診断装置 Real-time Tissue Elastography を用いた多裂筋筋硬度の比較. 第27回日本整形外科超音波学会, 秋田, 2015年7月4-5日.
3. 村上幸士, 櫻庭景植：超音波診断装置 Real-time Tissue Elastography を用いた腰部・腹部筋群の筋硬度測定. 第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 2015年11月7-8日.

門馬 博

講演

1. 門馬博：運動錯覚を用いた理学療法の可能性. 第2回日本基礎理学療法学会学術集会, 横須賀, 2015年11月14-15日.

論文

1. 門馬博：理学療法における運動イメージの活用法 運動イメージ能力の評価法. 理学療法 32:717-803, 2015.

藤澤 祐基

論文

1. Fujisawa Y, Okajima Y: Characteristics of handwriting of people with cerebellar ataxia: Three-dimensional movement analysis of the pen tip, finger, and wrist. Phys Ther 95(11):1547-1558, 2015.
2. Sumitani Y, Hosaka T, Susaki Y, Fujisawa Y, Kuriyama K, Tsukada Y, Yokoyama T, Ogasawara J, Nishida S, Inukai K, Okajima Y, Ohno H, Ishida H: Clinical effect of real time pulse rate monitoring with a portable pulsometer on physical exercise therapy for male patients with type 2 diabetes. Diabetol Int. 2015:1-7, 2015.

松村 将司

講演

1. 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 清水洋治, 須永遼司, 竹井仁, 篠田瑞生：変形性膝関節症患者と健常高齢者の骨盤・下肢アライメントと関節可動域の比較. 第50回日本理学療法学会大会, 東京, 2015年6月5-7日.

論文

1. 松村将司：バドミントンの膝障害に対する実践. 臨床スポーツ医学 32(10):976-981, 2015.
2. 清水洋治¹, 須永遼司¹, 宇佐英幸², 市川和奈¹, 小川大輔³, 畠昌史¹, 松村将司, 竹井仁²(¹千川篠田整形外科, ²首都大学東京, ³目白大学)：条件の異なるスクワット動作遂行中の下肢の運動学的解析. 日本保健科学学会誌 18(4):200-209, 2016.

著書

1. 松村将司：筋膜の力伝達. 膜・筋膜 最新知見と治療アプローチ. 竹井仁監訳. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 113-146. (分担翻訳).

● 作業療法学科 ●

加藤 英世

講演

1. 加藤英世：看護って？看護師の使命. 東京都立小平高等学校キャリア教育, 小平, 2015年5月29日.
2. 石野晶子, 加藤英世, 太田ひろみ, 佐々木裕子：幼児の重心動揺量の実態と, 足趾筋力との関連性. 第62回日本小児保健学会, 福岡, 2015年6月19日.
3. 加藤英世：知的障害者のための音楽療法の実践. 知的障害者収容施設戸吹育成園, 八王子, 2015年10月4日.
4. 篠場沙季, 加藤英世, 田邊郁恵, 古橋晃一, 石野晶子：児童の重心動揺量経年変化と, その関連要因に関する研究. 第62回日本学校保健学会, 岡山, 2015年11月28日.
5. 加藤英世：幼児の発達と生活習慣. 八王子中村学園なかの幼稚園, 八王子, 2015年12月19日.
6. 加藤英世：高齢者のための音楽療法. 有料老人ホーム心成苑, 八王子, 2015年12月23日.

著書

1. 加藤英世：母子保健対策. エッセンシャル社会・環境と健康第2版第7刷. 高島豊, 櫻井裕編著. 東京, 医歯薬出版, 2015. p. 212-219.

下田 信明

講演

1. 長島泉, 望月秀樹, 武田湖太郎, 下田信明：手の心的回転課題遂行時には年代によらず運動イメージが誘発される-反応時間の変化による検討-. 第22回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 千葉, 2015年4月12日.
2. 望月秀樹, 武田湖太郎, 佐藤裕, 長島泉, 下田信明：手の心的回転課題における男女の反応時間差. 第49回日本作業療学会, 神戸, 2015年6月19日.
3. 長島泉, 望月秀樹, 武田湖太郎, 佐藤裕, 下田信明：手の心的回転課題の反応時間プロフィールは手の見え方によって異なる. 第9回Motor Control研究会, 京都, 2015年6月26日.
4. 原田祐輔, 山口幸三郎, 望月秀樹, 下田信明：訪問リハビリテーションにおける臨床実習の利点と欠点-実習指導者側の視点から-. 第20回日本在宅ケア学会学術集会, 東京, 2015年7月19日.
5. 長島泉, 望月秀樹, 武田湖太郎, 佐藤裕, 下田信明：加齢が手の心的回転課題遂行に及ぼす影響. 第38回日本神経科学大会, 神戸, 2015年7月30日.
6. 原田祐輔, 森田千晶, 下田信明, 望月秀樹：地域在住脳血管疾患患者における自己実現の欲求の充足に関する調査研究. リハビリテーション・ケア合同研究大会神戸2015, 神戸, 2015年10月1日.
7. 下田信明：認知症のケアとリハビリテーション・作業療法. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子. 2015年10月8・15・22・29日, 11月5日.

著書

1. 下田信明：ADL 第1版. 東京, 羊土社, 2015.
2. 下田信明：作業療法士による在宅リハビリテーションの実践. 在宅ケア学 第1巻 在宅ケア学の基本的考え方. 日本在宅ケア学会編. 東京, ワールドプランニング, 2015. pp.157-161.
3. 下田信明：在宅ケアの過去・現在・未来. 在宅ケア学 第1巻 在宅ケア学の基本的考え方. 日本在宅ケア学会編. 東京, ワールドプランニング, 2015. pp.221-238.
4. 下田信明：ADLの概念と範囲. ADL. 柴喜崇, 下田信明

編．東京，羊土社，2015．pp.14-16.

その他

1. 下田信明：リハビリテーションと共に生きる社会と日本在宅ケア学会．日本在宅ケア学会誌 19:3-4. 2015.
2. 下田信明：日本在宅ケア学会平成27年度第1回公開講座企画・開催，東京，2015年7月18日．

丹羽 正利

講演

1. 村松憲，玉木徹，生友聖子，丹羽正利，佐々木誠一，石黒友康：運動療法はOLETF (Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty) ラットのγ運動ニューロン減少を予防する．第58回日本糖尿病学会年次学術集会，山口，2015年5月21-24日．
2. 村松憲，玉木徹，生友聖子，丹羽正利，佐々木誠一，石黒友康：Prevention of gamma motoneuronal loss in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty rats by exercise training. 第50回日本理学療法学術大会，東京，2015年6月5-7日．
3. Oshiro N, Ikutomo M, Muramatsu K, Sasaki S-I, Niwa M: A long-term hyperglycemia causes the serious morphological changes of abdominal motoneurons and muscles in STZ rats. 第38回日本神経科学大会，神戸，2015年7月28-31日．
4. Muramatsu K, Tamaki T, Ikutomo M, Niwa M, Ishiguro T, Sasaki S-I: Exercise training prevent gamma motoneuronal loss in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty rats. 第38回日本神経科学大会，神戸，2015年7月28-31日．
5. Ikutomo M, Oshiro N, Muramatsu K, Tamaki T, Niwa M, Ishiguro T: The muscular atrophy of non-locomotor muscle differ from that of locomotor muscle in type-2 diabetic rats. 第38回日本神経科学大会，神戸，2015年7月28-31日．
6. Niwa M, Sasaki S-I: The property of Ia excitation and recurrent inhibition of abdominal motoneurons in the cat. Society for Neuroscience Annual Meeting, USA, October, 17th-21st, 2015.
7. Sasaki S-I, Niwa M: Firing properties of medullary expiratory neurons during induced defecation in cats. Society for Neuroscience Annual Meeting, USA, October, 17th-21st, 2015.
8. 玉木徹，生友聖子，村松憲，丹羽正利：遅筋を支配するニューロンは糖尿病に脆弱性をもつ．第51回日本運動障害研究会，東京，2016年1月30日．
9. 生友聖子，玉木徹，大城直美，丹羽正利，村松憲：糖尿病は呼吸障害の原因となるか．第51回日本運動障害研究会，東京，2016年1月30日．

論文

1. 大城直美，村松憲¹，佐々木誠一²，丹羽正利（¹健康科学大学，²茨城県立医療大学）：糖尿病モデルラットにおける腹壁筋の運動ニューロンの形態変化．運動障害研究会誌 25(2):7-10, 2015.
2. 村松憲¹，玉木徹¹，生友聖子¹，丹羽正利，升佑二郎¹，石黒友康¹，佐々木誠一²（¹健康科学大学，²茨城県立医療大学）：運動療法はOLETFラットの運動障害を予防する．運動障害研究会誌 25(1):39-42, 2015.

著書

1. 丹羽正利：解剖・運動学に基づいたROM治療とは．臨床OT ROM治療．山本伸一編．東京，三輪書店，2015．p.2-14.

望月 秀樹

講演

1. 長島泉，望月秀樹，武田湖太郎，下田信明：手の心的回転課題遂行時には年代によらず運動イメージが誘発される-反応時間の変化による検討-．第22回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，千葉，2015年4月12日．
2. 望月秀樹：パワーリハビリテーション疾患別運営方法．パワーリハビリテーション指導員研修会，東京，2015年4月26-27日．
3. 望月秀樹：パワーリハビリテーション概論・各論．パワーリハビリテーション実務者研修会，仙台，2015年6月7日．
4. 望月秀樹，武田湖太郎，佐藤裕，下田信明：手の心的回転課題における男女の遂行能力差．第49回日本作業療法学会，神戸，2015年6月19-21日．
5. 長島泉，望月秀樹，武田湖太郎，佐藤裕，下田信明．手の心的回転課題の反応時間プロフィールは手の見え方によって異なる．第9回Motor Control研究会，京都，2015年6月25-27日．
6. 原田祐輔，山口幸三郎，望月秀樹，下田信明：訪問リハビリテーションにおける臨床実習の利点と欠点-実習指導者側の視点から-．第20回日本在宅ケア学会学術集会，東京，2015年7月18-19日．
7. 望月秀樹：パワーリハビリテーション概論および各論．パワーリハビリテーション実務者研修会，広島，2015年8月9日．
8. 原田祐輔，森田千晶，下田信明，望月秀樹：地域在住脳血管疾患患者における自己実現の欲求の充足に関する調査研究．リハビリテーション・ケア合同研究大会神戸2015，神戸，2015年10月1-3日．
9. 望月秀樹：パワーリハビリテーション運営理論Ⅱ．パワーリハビリテーション上級指導員研修会，東京，2015年10月24日．
10. 望月秀樹：パワーリハビリテーション疾患別運営方法．パワーリハビリテーション指導員研修会，東京，2015年10月31日-11月1日．
11. 望月秀樹：パワーリハビリテーション概論・各論・評価学．パワーリハビリテーション実務者研修会，山形，2015年11月8日．

その他

1. 望月秀樹：日本自立支援介護学会第9回学術大会企画・開催，東京，2015年5月30-31日．

鈴木 健太郎

講演

1. 鈴木健太郎：作業療法と感覚統合．相談職員向け講座，東京，2015年5月1日．
2. 鈴木健太郎：子どもの発達と感覚統合．通園職員向け講座，東京，2015年5月1日．
3. 鈴木健太郎：食事のケア．介護職員研修会，東京，2015年5月31日．
4. 鈴木健太郎，佐藤知正：地域における高齢者生活支援ネットワーク作り．第49回日本作業療法学会，神戸，2015年6月20日．
5. 長谷川利夫，鈴木健太郎，金谷光子：長期入院から地域での生活に移行した人が感じる「地域生活」と「病院内の生活」の違い-真の地域生活とは何か？．日本病院・地域精神医学会第58回大会，多摩，2015年11月6日．
6. 鈴木健太郎，佐藤知正：地域における高齢者生活支援ネットワーク作り．第12回東京都作業療法士学会，東

京, 2015年11月8日.

7. 鈴木健太郎: 作業療法とご利用者支援. 職員向け研修会, 東京, 2015年11月20日.
8. 北越大輔, 鈴木健太郎, 打田沙姫, 鈴木雅人: ロボットを用いた転倒予防システムへの新ゲーム導入に関する検討. 2016年電子情報通信学会総合大会, 福岡, 2016年3月16日.

その他

1. 鈴木健太郎: NPHC研究会企画・開催, 東京, 2015年5月23日.
2. 鈴木健太郎: 日本建築学会建築計画委員会高齢者・障害者等居住小委員会平成27年度公開講座企画, 東京, 2016年3月5日.

早坂 友成

講演

1. 早坂友成: 第3回OT塾－作業療法を後進に正しく伝える. OT塾実行委員会, 東京, 2015年4月19-20日.
2. 早坂友成: 生涯教育研修会現職者選択研修－精神障害領域の作業療法. 東京都作業療法士会, 東京, 2015年5月17日.
3. 早坂友成: 第4回OT塾－作業療法を後進に正しく伝える. OT塾実行委員会, 東京, 2015年5月23-24日.
4. 早坂友成: 精神障害者の社会参加－うつを抱える人への再就職・復職支援. 第49回日本作業療法学会, 神戸, 2015年6月19日.
5. 早坂友成: 過重労働と双極性障害の関係－ボールペン組み立て作業を用いた評価. 第49回日本作業療法学会, 神戸, 2015年6月19日.
6. 早坂友成: 双極性障害に対するボールペン組立作業を用いた評価－軽躁状態と過重労働の関係. 第12回日本うつ病学会学術大会, 東京, 2015年7月17日.

論文

1. 早坂友成: 職場復帰支援プログラムにおける作業療法. 日本精神科病院協会雑誌 34(7):67-72, 2015.

著書

1. 早坂友成: 老年期うつ病に対する作業療法. 老年期うつ病の作業療法. 高橋章郎編. 東京, メジカルビュー社, 2015. p. 88-100.
2. 早坂友成: 第1回PT・OT国家試験模擬試験－精神神経系. 東京, 医歯薬出版, 2015.
3. 早坂友成: 第2回PT・OT国家試験模擬試験－精神神経系. 東京, 医歯薬出版, 2015.

その他

学会主催

1. 早坂友成: 第56回作業療法全国研修会企画・開催. 富山, 2015年9月26-27日.
2. 早坂友成: 第57回作業療法全国研修会企画・開催. 奈良, 2015年11月7-8日.
3. 早坂友成: 第1回うつ病作業療法学術大会企画・開催. 東京, 2016年3月27日.

石野 晶子

講演

1. 石野晶子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 加藤英世: 幼児の重心動揺量の実態と足趾筋力との関連性. 第62回小児保健研究学会総会, 長崎, 2015年5月18-20日.

論文

1. 石野晶子, 加藤英世: 保護者が求める子宮頸がん予防の健康教育に関する研究. 母性衛生 157(1):2016. (印刷中).

刷中).

2. 石野晶子: 重篤な有害事象報告前後におけるHPVワクチンに対する保護者の認識の変化と要望に関する研究. 民族衛生 182(6):2016. (印刷中).

著書

1. 石野晶子: 子どもの健康状態の把握 (1) 主な症状. 保育士養成シリーズ第10巻子どもの保健Ⅰ. 松田博雄, 金森三枝編. 中央出版法規, 2015. p. 137-148.
2. 石野晶子: 保育現場における事故防止対策及び安全対策並びに危機管理 (3). 保育士養成シリーズ第10巻子どもの保健Ⅰ. 松田博雄, 金森三枝編. 東京, 中央出版法規, 2015. p. 317-330.
3. 石野晶子: 体調不良や傷害が発生した場合の対応. 保育士養成シリーズ第11巻子どもの保健Ⅱ. 松田博雄, 金森三枝編. 東京, 中央出版法規, 2015. p. 65-76.

齋藤 利恵

講演

1. 齋藤利恵, 八並光信, 丹羽正利: 臨床実習中における学生のストレス反応および睡眠状況について－3次元加速度センサーを用いて－. 第49回日本作業療法学会, 神戸, 2015年6月20日.
2. 齋藤利恵, 八並光信: 臨床実習中に過度の不安を抱えた学生の心理的適応について. 第12回東京都作業療法学会, 東京, 2015年11月8日.

大城 直美

講演

1. 大城直美, 生友聖子, 村松憲, 佐々木誠一, 丹羽正利: A long-term hyperglycemia causes the serious morphological changes of abdominal motoneurons and muscles in STZ rats. 長期間の高血糖によって重度に誘発される腹壁筋運動ニューロンと筋の形態変化. 第38回神経科学学会, 神戸, 2015年7月28-30日.
2. 生友聖子, 大城直美, 村松憲, 玉木徹, 丹羽正利, 石黒友康: The muscular atrophy of non-locomotor muscle differ from that of locomotor muscle in type-2 diabetic rats. 2型糖尿病ラットにおけるnon-locomotor muscleの筋萎縮はlocomotor muscleと異なる. 第38回神経科学学会, 神戸, 2015年7月28-30日.

長島 泉

講演

1. 長島泉, 望月秀樹, 武田湖太郎, 下田信明: 手の心的回転課題遂行時には年代によらず運動イメージが誘発される－反応時間の変化による検討－. 第22回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 千葉, 2015年4月12日.
2. 長島泉, 望月秀樹, 武田湖太郎, 佐藤裕, 下田信明: 手の心的回転課題の反応時間プロフィールは手の見え方によって異なる. 第9回Motor Control研究会, 京都, 2015年6月25-27日.
3. Nagashima I, Mochizuki H, Takeda K, Sato Y, Shimoda N: Effects of aging on performance of the hand mental rotation task. Neuroscience 2015, Kobe, July 28th-31st, 2015.

原田 祐輔

講演

1. 原田祐輔, 森田千晶, 下田信明, 望月秀樹: 地域在住

脳血管疾患患者における自己実現の欲求の充足に関する調査研究．リハビリテーション・ケア合同研究大会 神戸2015，神戸，2015年10月1-3日．

2. 原田祐輔，山口幸三郎，望月秀樹，下田信明：訪問リハビリテーションにおける臨床実習の利点と欠点-実習指導者側の視点から-．第20回日本在宅ケア学会学術集会，東京，2015年7月18-19日．

論文

1. 紅林佑介¹，原田祐輔，井上善久²(¹関西医療大，²小金井病院)：精神科看護師の看護実践能力と職業性ストレスとの関連．日本保健福祉学会誌 22(2)：1-8，2016．

著書

1. 原田祐輔：在宅におけるADL指導．PT・OTビジュアルテキスト ADL．柴喜崇，下田信明編．東京，羊土社，2015．p. 321-328．

鈴木 優喜子

講演

1. 鈴木優喜子，長澤明，小林隆司：認知症疾患治療病棟に入院中のアルツハイマー型認知症患者における認知症重症度と行動・心理症状の関係．第49回日本作業療法学会，神戸，2015年6月19-21日．

論文

1. 鈴木優喜子：アルツハイマー病患者におけるAMPSと認知症重症度，認知機能，ADL・IADL能力との関連．日本作業療法研究学会雑誌 18(2)：19-26，2015．

● 診療放射線技術学科 ●

石井 和夫

講演

1. 細田香織，柴崎浩美，横川彰朋，古田隆，石井和夫：日本人のイソフラボン代謝および体内動態における個人差．日本食品化学学会第21回総会学術大会，東京，2015年5月21日．
2. 木下瑞貴，細田香織，柴崎浩美，横川彰朋，石井和夫：LC-MS/MS法による大豆イソフラボンおよびエクオールとその抱合代謝物の一斉分析法の検討．第40回日本医用マスペクトル学会年会，浜松，2015年9月17-18日．
3. 塩川亮太，細田香織，柴崎浩美，横川彰朋，石井和夫：LC-MS/MS法によるヒト尿中におけるパニルルマンデル酸，ホモパニルリン酸，メタネフリン，ノルメタネフリンおよびクレアチニンの同時定量法の検討．第40回日本医用マスペクトル学会年会，浜松，2015年9月17-18日．
4. 横川彰朋，八郷雅弘，平野良平，細田香織，石井和夫，古田隆，柴崎浩美：LC-MS/MSによる尿中コルチゾール及びコルチゾンの6 α -/6 β -水酸化代謝物の分離定量法．第40回日本医用マスペクトル学会年会，浜松，2015年9月17-18日．

岡田 洋二

講演

1. 渡辺篤志，木暮英輝，瀬野晋一郎，関健介，坂本岳士，岡田洋二，嶋津秀昭：アリシンから生成される2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与．第13回日本機能性食品医学学会総会，福岡，2015年12月12-13日．

論文

1. 小林由佳，高松由佳，仲座春菜，島田正亮¹，岡田洋二，

大瀧純一²(¹杏林大・医・総合医療学，²杏林大・保健・看護看護学Ⅲ)：ナノ秒時間分解レーザーフラッシュフォトリス装置を用いた一重項酸素に対するカプサイシンの消去活性に関する研究．杏林医会誌 46(4)：255-261，2015．

黒木 一典

講演

1. Masuda Y, Kuroki K, Tateishi H, Kariyasu T, Nitatori T: Successful management for duodenal varices by balloon-occluded retrograde transvenous obliteration via right gonadal vein. Cardiovascular and interventional radiological society of Europe. Portugal, September 26th-30th, 2015.
2. 木下雄介，増田裕，菊安俊哉，塚原弥生，本谷啓太，片瀬七朗，黒木一典，横山健一，似鳥俊明：奇静脈への還流を認めた乳児肺葉内分画症．第51回日本医学放射線学会秋季臨床大会，盛岡，2015年10月2-4日．

その他

1. 黒木一典：20年目の反芻．日本スカンジナビア放射線医学協会30周年記念誌．p. 7-9．

小林 邦典

講演

1. 新井隆弘，小林邦典，宮崎功，吉岡達也：MRIを用いた全腎容積の測定—ファントムによる検討．第110回日本医学物理学会学術大会，札幌，2015年9月18-20日

著書

1. 小林邦典，東原英二：腎臓容積の測定法．多発性嚢胞腎～進化する治療最前線．東原英二編著．大阪，医薬ジャーナル社，2015．p. 91-99．

中島 延淑

講演

1. 中島延淑：医療画像は何処から来て，何処へ向かうのか？．第3回吉祥寺セミナー“散乱線”，三鷹，2015年10月17日．

山本 智朗

講演

1. 山本智朗：心筋SPECTの収集条件とアーチファクト．第25回日本心臓核医学学会総会・学術大会，東京，2015年6月26-27日．
2. 山本智朗：超基礎 SPECTの補正．第32回インフォーマルミーティング，東京，2016年1月9日．

論文

1. 山本智朗，大竹英則¹，横田憲一²，廣野圭司³，菊池敬⁴，神宮司公二⁴，新井誉夫⁵(¹群馬大・院，²長野市民病院，³横市大，⁴北里大，⁵山梨医大)：小児核医学検査適正施行のコンセンサスガイドラインに関するアンケート調査．日核技関東広報誌 25(2)：4-19，2015．

その他

1. 山本智朗：多次元画像の趨勢，医学物理，35(3)，193，2015．

田中 薫

講演

1. 田中薫，田村陽介：アリシン(allylicin)のポテンシャル

エネルギー面による遷移状態の探索(第2報). 日本薬学会第136年会, 横浜, 2016年3月28日.

2. 田村陽介, 田中薫, 川澄岩雄: バニロイドの配座解析と安定構造の検討. 日本薬学会第136年会, 横浜, 2016年3月28日.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 田中薫: ポテンシャルエネルギー面に基づいた回転異性体(配座異性体)の配座探索. 自然科学研究機構分子科学研究所岡崎共通研究施設計算科学研究センター, 2015年度 施設利用報告書.

関 健介

講演

1. 関健介, 荻津真理, 松塚雅博, 金子哲也: 中学校体育系運動部所有の救急箱に関しての現状及び意識調査. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.
2. 松塚雅博, 関健介, 出嶋靖志, 後藤恭一, 石川友美, 金子哲也: 50年余を隔てた甲府盆地地下水系の水文変化に関する一考察. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月4-6日.
3. 渡辺篤志, 木暮英輝, 瀬野晋一郎, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: アリシンから生成される2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与. 第13回日本機能性食品医用学会総会, 福岡, 2015年12月12-13日.

本谷 啓太

講演

1. 森下恵美子, 本谷啓太, 大原有紗, 仲村明恒, 森井健司, 望月真: 稀な発生部位に生じた骨巨細胞腫の2症例. 第51回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 盛岡, 2015年10月2-4日.
2. 木下雄介, 増田裕, 塚原弥生, 菊安俊哉, 本谷啓太, 片瀬七朗, 黒木一典, 似鳥俊明: 奇静脈への還流を認めた乳児肺内分画症の一例. 第51回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 盛岡, 2015年10月2-4日.
3. 本谷啓太: 軟部組織病変 多種多様な画像所見を呈する軟部病変. 第44回断層映像研究会, 東京, 2015年10月24日.
4. 本谷啓太: 骨軟部 膝関節. 第35回日本画像医学会, 東京, 2016年2月26日.
5. 本谷啓太: Vantage Titan 3T Saturn Gradientにおける骨軟部MRI. 第35回日本画像医学会, 東京, 2016年2月27日.

論文

1. 土屋一洋¹, 本谷啓太(¹東京通信病院 放射線科): IMAGING Findings Klippel-Trenaunay-Weber症候群. 臨床画像 31(10増刊):154-156, 2015.
2. 本谷啓太: 骨折 軟骨下脆弱性骨折と骨壊死との関係を教えてください. 画像診断 35(11):s11-s14, 2015.

佐藤 英介

講演

1. 佐藤英介: 中性子の利用. 第71回日本放射線技術学会総会学術大会 第40回放射線防護部会, 横浜, 2015年4月17日.
2. Fukuzawa K, Takashima H, Yamatani Y, Takatsu Y, Hata J, Sato E, Miwa K: Comparison of Apparent Diffusion Coefficients among Different MRI Platforms: A Multicenter Phantom Study. The 71st Annual Scientific Congress of Japanese Society of

Radiological Technology, Yokohama, April 16th-19th, 2015.

3. 森祐太郎, 磯辺智範, 神澤聡, 武居秀行, 佐藤英介, 高田健太, 吉村洋祐, 榮武二: 陽子線治療計画のビットフォールに対する教育方法の提案. 第9回日本診療放射線学教育学会総会・学術集会, 東京, 2015年9月2日.
4. 磯辺智範, 梁川範幸, 佐藤英介, 高田健太, 森祐太郎, 吉村洋祐, 小林大輔, 富田哲也, 武居秀行, 只野喜一, 榮武二: デジタル化時代においてX線撮影条件を教育する意義. 第9回日本診療放射線学教育学会総会・学術集会, 東京, 2015年9月2日.
5. 磯辺智範, 蘇リナ, 岡本嘉一, 平野雄二, 志田隆史, 高倉有, 佐藤英介, 正田純一: NAFLDの診断におけるT1 ρ の臨床的有用性の検討. 第43回日本磁気共鳴医学会大会, 東京, 2015年9月10-12日.
6. Sato E, Isobe T, Yamamoto T, Tadano K, Akutsu H, Matsumura A, Sakae T: Visualization of brain tumor grade classification using 1H-MRS. 第110回日本医学物理学会大会, 札幌, 2015年9月18-20日.
7. Isobe T, Yamamoto T, Takakura Y, Akutsu H, Hirano Y, Sato E, Tadano K, Sakae T, Matsumura A: A study of factors affecting the region selectivity in multi-voxel proton MRS. 第110回日本医学物理学会大会, 札幌, 2015年9月18-20日.
8. Tadano K, Isobe T, Sato E, Akutsu H, Hirano Y, Yamamoto T, Matsumura T, Matsumura A: Optimize acquisition parameters for the proton MRS of the Cervical Spinal Cord. 第110回日本医学物理学会大会, 札幌, 2015年9月18-20日.
9. 三輪建太, 我妻慧, 飯森隆志, 澤田晃一, 神谷貴史, 福澤圭, 佐藤英介: FDG-PETとMRIにおけるSUVとADCの定量性に関する多施設共同研究. 第43回日本放射線技術学会秋季学術大会, 金沢, 2015年10月8-10日.
10. Sato E, Isobe T, Yamamoto T, Tadano K, Akutsu H, Matsumura A: Pilot study of brain tumor grade evaluation using proton magnetic resonance spectroscopy(1H-MRS). 10th Asian Oceanian Congress of Neuroradiology, Hakata, November 5th-7th, 2015.

論文

1. 高田健太¹, 磯辺智範¹, 佐藤英介(¹筑波大学): モンテカルロコードPHITSを使用する際に知っておきたい注意点と工夫点. 医学物理 35(4):292-296, 2015.
2. Yamamoto T¹, Isobe T¹, Akutsu H¹, Matsumoto T¹, Ando H¹, Sato E, Takada K¹, Anno I², Matsumura A¹ (¹University of Tsukuba, ²Ibaraki Prefectural University of Health Sciences): Influence of echo time in quantitative proton MR spectroscopy using LCModel. Magn Reson Imaging 33(5):644-648, 2015.
3. Mori Y¹, Isobe T¹, Takada K¹, Sato E, Kamizawa S¹, Takahashi H¹, Sakurai H¹, Sake T¹ (¹University of Tsukuba): Quantitative Assessment of 131I in Soil Originating from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant using a Germanium Semiconductor Detector. Energy Procedia 71:370-376, 2015.

著書

1. 佐藤英介, 高田健太: 診療放射線技師第67回国家試験(2015年)対照表ダウンロードサービス基礎医学大要. 診療放射線技師ブルー・ノート基礎編 3rd edition 第3版. 福土政広編集. 東京, メジカルビュー社, 2015. p.1-7.
2. 佐藤英介: 外部放射線治療装置/線量計測・線量分布ミニマム基礎知識/外部放射線治療. 放射線治療 基礎知識図解ノート第1版. 磯辺智範編集. 東京, 金原出版,

2016. p. 40-59／p. 102-139／p. 140-191.

その他

1. Fukuzawa K, Takashima H, Yamatani Y, Takatsu Y, Hata J, Sato E, Miwa K：第71回日本放射線技術学会総会学術大会 銀賞，横浜，2015年4月16-19日。

坂本 岳士

講演

1. 白川佑也，高久啓志，安達卓哉，賀山恒，坂本岳士，市川浩三，大戸眞喜男，清水真太郎：高速CT撮影を用いた息止め困難な患者に対する有用な撮影パラメータの検討．第43回日本放射線技術学会秋季学術大会，金沢，2015年10月8-10日。

森 美加

著書

1. 森美加：Fracture-Cross search 第10回大腿骨転子部骨折①診断．東京放射線 vol.62 No.729. 東京，東京都診療放射線技師会，2015. pp.20-26.
2. 森美加：Fracture-Cross search 第11回大腿骨転子部骨折②治療．東京放射線 Vol.62 No.730. 東京，東京都診療放射線技師会，2015. pp.16-20.